

発注図に関する質疑・回答書

令和 8年 1月 14日

参加者 各位

志木市長 香川 武文

【公印省略】

担当 新複合施設建設推進室

案件名 志木市新複合施設建設工事技術協力業務委託

質 疑 内 容		
通 し 番 号	設計図書P.○ 又は、 図面No.○	共通：9項目（1～9） 構造：35項目（10～44） 外部：67項目（45～111） 内部：202項目（112～313） 建具：19項目（314～332） 外構：5項目（333～337） 電気：53項目（338～390） 空調：15項目（391～405） 衛生：23項目（406～428） 解体：2項目（429～430） 合計：430項目
		【共通】

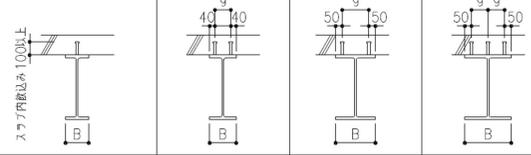
1	実施要項 P11-Ⅲ-1 共-001	<p>実施要項と受領した詳細設計図書等の内、発注図の面積が違います。どちらを正とすればよろしいでしょうか。</p> <table border="1" data-bbox="600 392 1317 600"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施要項 (4ページ)</th> <th>図面 (共-001)</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築面積</td> <td>5,109.90</td> <td>5,108.56</td> <td>▲ 1.34</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>12,710.13</td> <td>12,624.53</td> <td>▲ 85.60</td> </tr> <tr> <td>容積対象面積</td> <td>10,304.13</td> <td>10,262.78</td> <td>▲ 41.35</td> </tr> </tbody> </table>		実施要項 (4ページ)	図面 (共-001)	差	建築面積	5,109.90	5,108.56	▲ 1.34	延床面積	12,710.13	12,624.53	▲ 85.60	容積対象面積	10,304.13	10,262.78	▲ 41.35	実施要項を正とします。
	実施要項 (4ページ)	図面 (共-001)	差																
建築面積	5,109.90	5,108.56	▲ 1.34																
延床面積	12,710.13	12,624.53	▲ 85.60																
容積対象面積	10,304.13	10,262.78	▲ 41.35																
2	実施要項 P11-Ⅲ-1	受領した詳細設計図書等の内、発注図の CAD データ（意匠・構造・設備）をご提供いただくことは可能でしょうか。	質疑回答以降に提供できるように準備します。																
3	様式 7-1-1~6 様式 7-2-1~2	技術提案書について、様式内に配置されている黒線の枠を編集、拡大することは可能でしょうか。	用紙サイズの変更がなければ、枠の編集・拡大は、可能とします。																
4	図面リスト-3	発注図の図面リスト-3に記載されている「M-402 給排水衛生設備 機具表」が不足しています。前回の入札時には、2024年2月19日に追加で受領しておりますが、今回も同様に追加で交付いただける予定でしょうか。	質疑回答以降に提供できるように準備します。																

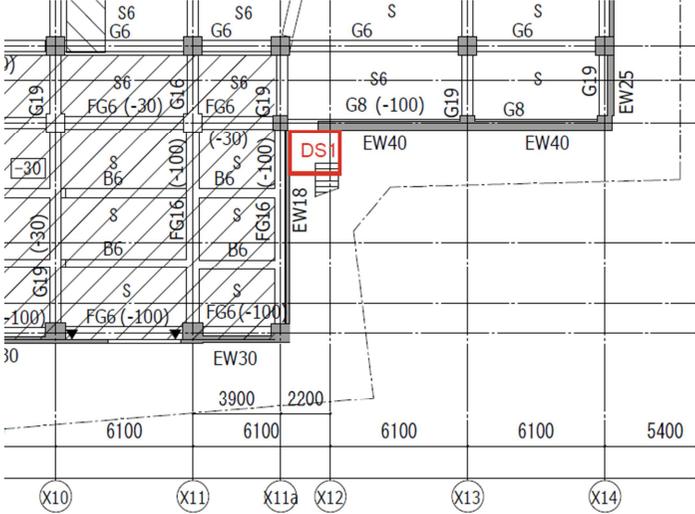
5	A-201、 A-207、 A-606～609、 A-641	前回の入札時には、2024年3月1日にA-201、A-207、A-606～609、A-641の訂正図を追加で受領しておりますが、今回も同様に追加で交付いただける予定でしょうか。	質疑回答以降に提供できるように準備します。
6	共-002	<p>予備品について 共通特記仕様書-2に各項目の指示がございますが、どこまでが対象になる仕上材なのか明確ではありません。それぞれ対象の仕上材を御指示下さい。</p> <p>a.壁材 b.床材 c.タイル d.石材 e.インターロッキングブロック f.特殊電球等 g.その他監理者が指定するもの ※Mテ用金物一式</p>	<p>下記の仕上材、数量を対象としてください。</p> <p>a.壁材 せつ器質タイル：5㎡内外</p> <p>b.床材 ビニル床タイルA：2㎡内外 人工芝：2㎡内外</p> <p>c.タイル 床タイルA：2㎡内外 床タイルB：2㎡内外 床タイルC：3㎡内外 せつ器質タイル：5㎡内外</p> <p>d.石材 e.インターロッキングブロック 擬石平板舗装：2㎡内外 石張舗装：2㎡内外 石張舗装（ボーダー）：2m内外 透水性擬石平板舗装 t80：2㎡内外 透水性擬石平板舗装 t60：2㎡内外</p> <p>f、g：無し</p>

7	特-001	<p>建築特記仕様書(意匠)-1に「炆器質タイル試し張(900×900 6枚)目地詰共」のモックアップの指示がございますが、モックアップサイズ・モックアップ下地の仕様詳細・モックアップ設置位置が不明なので御指示下さい。</p>	<p>モックアップサイズ：900×900×6枚 タイルと目地材の色味、目地幅、目地の詰め具合の確認を意図しており、下地の仕様や設置位置の指定はありません。</p>
8	特-001 A-609	<p>建築特記仕様書(意匠)-1に「ガルバリウム鋼板製ルーバーモックアップサイズ等は図示による」、ルーバー詳細図に「各タイプごとにそれぞれ5m²程度作成する事」のモックアップの指示がございますが、モックアップ下地の仕様詳細・モックアップ設置位置が不明なので下記それぞれ御指示下さい。</p> <p>①Aタイプ ②Bタイプ ③Cタイプ</p>	<p>A～Cタイプともに下地は軽鉄天井下地25型としてください。設置位置は床から3m程度で見上げることができれば特に指定はありません。</p>
9	特-001	<p>建築特記仕様書(意匠)-1に「ホール内装木ルーバー H1800×W900程度」のモックアップの指示がございますが、モックアップ下地の仕様詳細・モックアップ設置位置が不明なので御指示下さい。</p>	<p>表出する仕上の確認のため、下地の仕様の指定はありません。 設置位置は敷地内であれば特に指定はありません。</p>
		<p>【構造】</p>	

10		土工事について、掘削開始レベルと埋戻しレベルの関係は設計 GL から掘削を開始し、設計 GL まで埋戻しを行うものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	掘削開始レベルは A-102 図としてください。埋戻しレベルはお見込みのとおりです。
11	S-001	砂利地業には再生材を適用すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
12	S-001	床下防湿層について、半枚重ねによる施工と想定して宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
13	S-001	ガス圧接について、継手性能分類等級の A 級指定はないものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
14	S-002	止水板について、土に接する打継部分の止水板と同範囲に二次止水として「アデカ ウルトラシル MC-2010 同等品」が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
15	S-002	水槽の打継部に用いる止水板について、仕様は特記に記載の「ブチルゴム系止水版 200×6(鉄板入り)」と同様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

16	S-004 S-042 S-043	溶接閉鎖型鉄筋を適用する範囲について確認ですが、積算上は特記に記載のある「SRC 造仕口部の帯筋」以外の部分に溶接閉鎖型鉄筋の適用はないものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
17	S-007	鉛直耐震スリットの中について、区分表の中の記載が空白となっていますが、積算上は壁の梁下寸法に関わらず一律で最小巾の 25mm とするものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
18	S-011	RC 梁の貫通孔補強について、積算上は全ての径で既製品を用いた補強を行うものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
19	S-011	上記質疑が否の場合、既製品補強とする径と在来補強とする径を別途御指示下さい。	No18 による。
20	S-011	RC 梁の貫通孔補強に既製品を用いる場合、既製品貫通孔補強の仕様はコーヨー建販様のダイヤレン NS IV 型 (スリーブ 1 か所につき 2 枚) 程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	Z-M ダイヤレン工法を見込んでください。
21	S-011	S-011 図に記載の径ごとのスリーブか所数について、基礎・地下・地上に分割した数量を御指示下さい。	基礎・地下・地上の内訳については発注図より適宜見込んでください。

22	S-013 S-027 S-064	<p>機械式定着板の施工位置について、特記仕様書や配筋詳細図の記載から以下の通りと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>最上階梁：上端1段筋以外の全ての端部鉄筋 中間階梁：端部筋の全て 基礎梁：端部筋の全て 小梁、基礎小梁：上記梁の施工位置に倣う 片持大梁：不要 柱：柱頭(柱脚には不要) 床・壁：不要 軸組図で指示のある梁端部：不要(一般定着)</p>	宜しいです。															
23	S-044	<p>RC大梁リストについて、1FLのG14の上端筋の主筋本数が、図中に記載の本数では5+5=10本、図及び表の本数では5-D25と異なります。図及び表の5-D25を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。															
24	S-045	鉄骨梁上のスタッドボルトの納まりを御指示下さい。	<p>頭付きスタッド 特記なき限り下記とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> RCスラブを受ける鉄骨梁上には頭付スタッドを設ける。 スラブ嵩上げ部はスタッド長を調整し、スラブへの嵌込み長さ:100mmを確保する。 ゲージ間隔(g)は5d以上を確保し、ウェブ芯に対して均等に割り付ける。 <table border="1" data-bbox="1370 1094 2049 1334"> <thead> <tr> <th>梁幅</th> <th>B<175</th> <th>175≤B<200</th> <th>200≤B<350</th> <th>350≤B<450</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大梁・片持ち大梁</td> <td>1-φ19@200</td> <td>2-φ19@200</td> <td>2-φ19@200</td> <td>3-φ19@200</td> </tr> <tr> <td>小梁・片持ち小梁</td> <td>1-φ16@300</td> <td>2-φ16@300</td> <td>2-φ16@300</td> <td>3-φ16@300</td> </tr> </tbody> </table> 	梁幅	B<175	175≤B<200	200≤B<350	350≤B<450	大梁・片持ち大梁	1-φ19@200	2-φ19@200	2-φ19@200	3-φ19@200	小梁・片持ち小梁	1-φ16@300	2-φ16@300	2-φ16@300	3-φ16@300
梁幅	B<175	175≤B<200	200≤B<350	350≤B<450														
大梁・片持ち大梁	1-φ19@200	2-φ19@200	2-φ19@200	3-φ19@200														
小梁・片持ち小梁	1-φ16@300	2-φ16@300	2-φ16@300	3-φ16@300														

28	S-060 A-320	外部階段 2 について、鉄骨階段柱脚や鉄骨階段間柱を受ける基礎部躯体の配置や断面の詳細を御指示下さい。	 <p>DS1 : 厚 250 配筋 D13@200 ダブル縦横 捨てコン 50 砕石 150</p>
29	S-063 A-632	オイルタンクの配筋について、耐圧版や土圧壁、上部スラブの配筋が意匠図と構造図で異なります。構造図の配筋を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

30	S-063 A-632	<p>オイルツクの地業について、捨てコンクリートの厚さが意匠図と構造図で以下のように異なります。</p> <p>意匠図：60mm 構造図：50mm</p> <p>構造図の厚さを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
31	S-066 A-641 A-706 A-712	<p>地下接続スラブについて、構造図と外構図に記載の情報とで以下のように異なります。</p> <p>構造図：本体建屋と同様の柱・梁の記載あり 外構図：真空コンクリート+路盤</p> <p>構造図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
32	A-328	<p>3F 平面詳細図 2 の X3/A9-A10 通りに記載のある機械基礎 W3000×L6000×H300 について、平面図上の大きさと記載寸法が異なります。</p> <p>平面図上に記載の大きさを正とし、W250×L2000×H300 に読み替えるものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。

33	A-200 A-301~308	耐火被覆について、矩計図ではホール及びアーチの天井部分の鉄骨に耐火被覆の表しが見受けられないため、ホール及びアーチ部分の鉄骨部材の耐火被覆は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
34	A-200 A-301~308	耐火被覆について、いろはひろばの上部梁は耐火材巻付と仕上特記仕様書に記載がありますが、矩計図での納まりより、いろはひろばの鉄骨に施す巻付耐火被覆材は直貼と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
35	A-200 A-303	いろはみち 3-1 部分の耐火被覆について、仕様はいろはひろばと同様の「耐火材巻付 直貼」と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
36	A-200 A-324~A-328	鉄骨柱の耐火被覆について、鉄骨柱露出部に設ける耐火被覆は「発泡性耐火塗料」と「発泡性耐火シート」の二種類の記載が仕上特記仕様書にありますが、積算上は使用か所の部分に記載のある「発泡性耐火塗料」を用いるものと考えて宜しいでしょうか。また、耐火塗料が適用となる柱は平面詳細図にて「耐火塗装」と記載のある鉄骨柱と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。 適用範囲はお見込みの通りです。

37	A-324~A-328	<p>各階の平面詳細図 2 について、X6/A14 通り付近に耐火塗装が必要となる鉄骨柱の記載がありますが、構造図には当該部分に柱の記載がありません。X6/A14 通り付近に鉄骨柱が必要な場合、部材寸法を御指示下さい。</p>	<p>S-063 北側カーテンウォール受け下地鉄骨詳細図を参照下さい。</p>
38	A-200	<p>25~29 までの耐火被覆の質疑に当てはまらない部分の鉄骨部材の耐火被覆は半乾式ロックール吹付と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
39	A-200	<p>耐火被覆の耐火時間について、すべての階で 1 時間耐火と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
40	S-039	<p>杭リストにおいて認定番号「TACP-0403（礫質地盤）」が指定されておりますが、「TACP-0405（礫質地盤）」も適用可能と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>

41	S-063A	<p>いろはみち庇下地鉄骨配置図において、すべり支承上部の PL-3.2 のサイズが図示 130×130、リスト 115×115 で相違しています。鉄骨サイズが 125mm のため、溶接シロを考慮し 105×105 と読み替えてよろしいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>すべり支承サイズを正とし、鉄骨 H125 のフランジ側面に付けフランジ PL-9 を溶接し拡幅する。</p>
42	S-063A	<p>上記が正の場合、荷重を受けるピラフロン 100×100 は下記のいずれに読み替えれば良いか御指示下さい。</p> <p>①PL-3.2 との縁空きを図面通り 15mm とし 75×75(支持荷重性能：約 3t、溶接：連続溶接)</p> <p>②PL-3.2 との縁空きを製作下限 6mm とし 93×93(支持荷重性能：約 5t、溶接：タック溶接)</p>	<p>N041 回答による。</p>
43	S-063A	<p>上記が②正の場合タック溶接間のシーリングの仕様と断面サイズを御指示下さい。</p>	<p>N041 回答による。</p>
44	H-113	<p>舞台機構設備 配置図（下段すのこ）において水平ブレースの表示がありますが部材が不明です。L-75×75×9 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>

		【外部】	
45	特-004・A-201・214	<p>外壁①耐候性4フ化フ素樹脂クリア塗装について 特記仕様書と外部仕上表で下記のように食い違って おります。外部仕上表を正と考えて宜しいでしょう か。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特記仕様書…クリエイティブライフ「AG2000AF 同等品」 ・外部仕上表…クリエイティブライフ SG2000AF 同等品 	商品廃盤によりクリエイティブライフ「SG2000STC 同等品」として下さい。
46	特-003・A-201・214	<p>外壁②外装薄塗材 E について 特記仕様書と外部仕上表で下記のように食い違って おります。外部仕上表を正と考えて宜しいでしょう か。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特記仕様書…フッコー「マジックコートフレックス ゆず肌」同等品 ・外部仕上表…アイカ/ジヨリパット JP-100(ゆず肌)同等品 	特記仕様書を正とします。
47	特-002・A-201・214・520	<p>外壁③せつ器質タイルの出隅役物について 役物サイズが不明です。 共用部詳細図-2 のせつ器質タイル役物 4 に倣い L型 (75+50)×60 標準曲りと 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。

48	特・002・A-201・ 214・520・323	<p>外壁③せつ器質タイルの開口役物について 役物サイズが不明です。下記のように考えて宜しい でしょうか。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開口抱き L型 (75+70)×60 標準曲り ・開口まぐさ L型 210+(60+60) 屏風曲り 	宜しいです。
49	A-406	<p>アーチ上部のダウンライト照明ボックス (StPLt1.6W200×D60×H70 下地 L-30×30×2.3 共) について 表面仕上が不明です。 溶融亜鉛メッキ処理・直仕上と 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	溶融亜鉛メッキ処理の上 DP 仕上としてください。

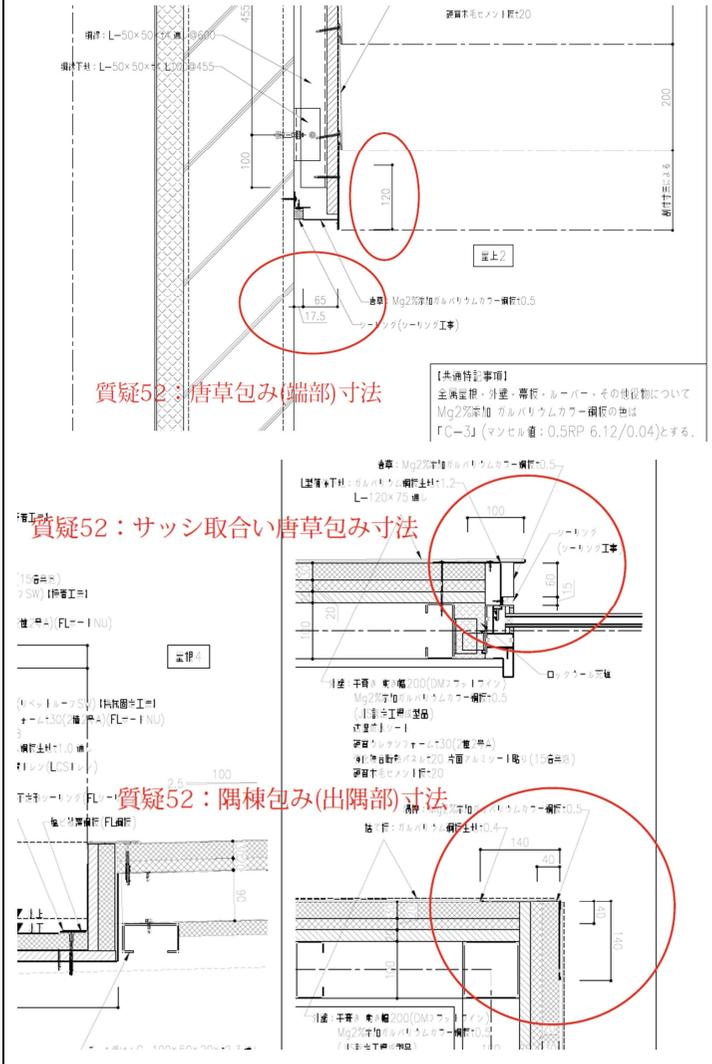
50	A-201・602	<p>外壁⑦平葺について 仕様が下記のように食い違っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部仕上表…平葺き 200(吊り子一体式) Mg2%添加ガルバリウムカラー鋼板 t0.5 浸透防水シート 硬質木毛セメント板 t20 ・金属屋根詳細図-2…平葺き 働き幅 200(DM フラットライン) Mg2%添加ガルバリウムカラー鋼板 t0.5 浸透防水シート 硬質ウレタンフォーム t30(2種 2号 A) 強化複合パネル t20 両面アルミシート張(15倍発泡) 硬質木毛セメント板 t20 <p>金属屋根詳細図-2 を正と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。 否の場合は、それぞれの該当範囲を御指示下さい。</p>	宜しいです。
51	A-201・214・602	<p>外壁⑦平葺について メーカー品番が不明です。御指示下さい。</p>	DM ハードタックフラットライン 200 一原産業 同等品

52 A-201・214・602

外壁⑦平葺の下記項目について
それぞれの部材寸法が不明です。御指示下さい。

- ①隅棟包み(出隅部)
- ②サッシ取合唐草包み(サッシ取合部)
- ③唐草包み(端部)

添付の寸法としてください。



53	A-201・214・216・ 326・328	<p>機器搬入スペースの外壁・梁型について 立面図に記載が無い為、仕上が不明です。 外壁①RC 打放壁の上、耐候性4フッ化フッ素樹脂クリア塗 装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
54	A-201・302	<p>屋上2 吸音パネル(壁貼り吸音パネル(ニュースト:NAP-50N 同等品)について 仕上表・矩計図に指示ございますが、仕様・材厚・詳細 が不明です。それぞれ御指示下さい。</p>	<p>t55 フローティングウール充填(ガラスクロス平貼) 躯体取付 正面板:高耐食メッキ鋼板パンチング t0.4 ケーシング:高耐食メッキ鋼板 t1.6 取付金物共 として下さい。</p>
55	A-201・213・214・ 305	<p>外壁③(富士見デッキ周り1~3FL X8-12/YB1-2)の外 壁高さについて 下記のように食い違っております。 ・立面図:3FL+300 まで ・矩計図:3FL まで 矩計図を正と考えてよろしいでしょうか。 御指示ください。</p>	宜しいです。

56	A-201・214	<p>外壁④外断熱 EPSボード (RC面 t50 壁面接着 耐候性有機質プラスター外装仕上 防滑コート共 STO JAPAN STO サーマクラシック同等品)について 出隅・入隅・端部の収まりが不明です。 金物・役物・シーリング等が必要でしたら、仕様・詳細をそれぞれ御指示ください。</p> <ul style="list-style-type: none">①EPSボード 出隅金物②EPSボード 入隅金物③EPSボード 端部金物(開口部)	<p>出隅、入隅、端部金物については不要と考えますがメーカー標準仕様同等としてください。 EPSボードと異種仕上との端部にはシーリングを見込んでください。</p>
----	-----------	--	---

57 A-201・209・210・
641・706・S-66～
69

外部車路 床仕上について外部仕上表と外構舗装計画平面図で下記のように食い違っております。

・外部仕上表：屋根保護防水絶縁工法(B-1)

構成:改質アスファルト防水常温複合工法(緩衝材)+保護コンクリート t100

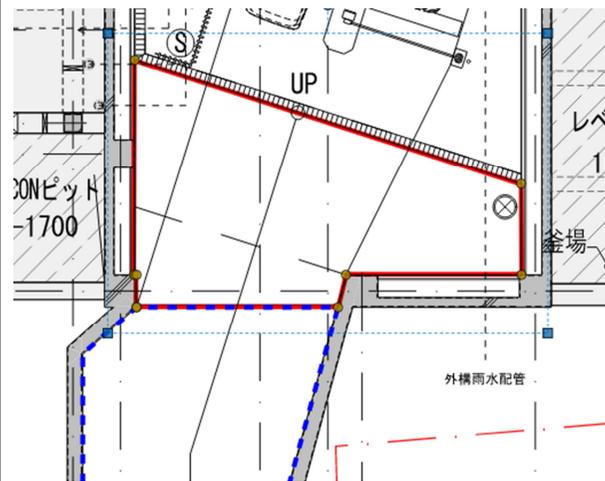
成形伸縮目地 W30@3000

立上り:塗膜併用工法高反射保護塗料仕上げ

・外構舗装計画平面図：真空コンクリート t200 リング工法

B1F 駐車場入口の排水溝から B1 通り基礎梁端部まで(赤線内)が外部仕上(防水あり)、そこから先(青点線)が構造スラブ上に外構仕上(防水無し)と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。

否の場合は、正しい取合・詳細図を御指示下さい。

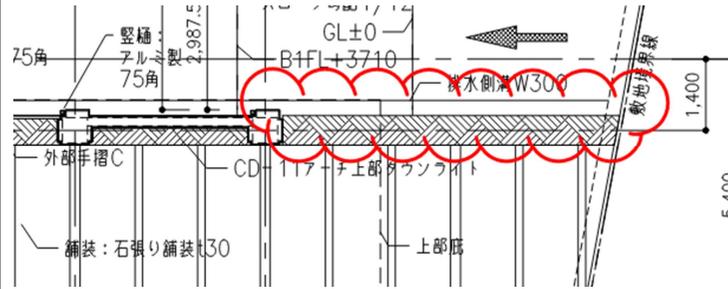


断面構成は外部仕上表の「スロープ」を正としてください。ご提示の仕上は荷捌き部分です。適用範囲は A-641 図が正で、青点線の範囲も防水ありとしてください。

58	特-001・A-201	<p>スロープ 改質アスファルト防水の脱気装置について 特記仕様書より「指定仕様の標準仕様で設ける」と指示 ございますが、仕様・設置個所数が不明です。 御指示下さい。</p>	<p>脱気装置は無しとして下さい。</p>
59	特-001・A-201	<p>スロープ 改質アスファルト防水の押え金物について 特記仕様書より「指定仕様付属する材料」と指示ご ざいですが、仕様が不明です。 L-10×40 シール共 アルミアングル程度と考えて宜しいでし ょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
60	A-631	<p>交流のにわ・スロープ 間の外構舗装用塞ぎパネル(幕板 StFB-12×310 通し他 H300)について スロープ・外部庇 1 詳細図に指示ございますが、表面仕 上が不明です。 溶融亜鉛メッキ・直仕上と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。</p>	<p>A-641 図に記載の通り、見えがかりとなる鉄部は 溶融亜鉛メッキの上 DP としてお見込みくださ い。</p>

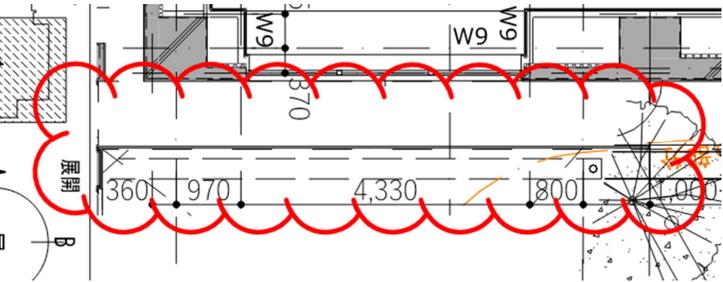
61 A-631

上記質疑に関連して
外構舗装用塞ぎパネルの設置範囲について明確な設置
範囲が不明です。
下記雲マーク内のみと考えて宜しいでしょうか。
御指示下さい。(外部手摺 C・壁の無い範囲)



宜しいです。

62	A-641・632	<p>外部手摺 C について スロープ・外部庇 1 詳細図に指示ございますが、仕様・詳細が不明です。 門扉 H850×W900 に倣い、下記程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>①外部手摺 C(X8-9 間/B1 通り) ブラケット支持手摺 St 製 水平部 H1150 手摺笠木 FB-22×22 通し 支柱 L-45×45 @1000 手摺子 FB-22×22 @100 以内 下棧 FB-22×60 通し 避雷導体仕様 耐水平荷重 1500N/m 溶融亜鉛メッキの上リ酸処理共</p> <p>②外部手摺 C(外部庇 1 柱間) 床支持手摺 St 製 水平部 H1150 手摺笠木 FB-22×22 通し 支柱 L-45×45 @1000 手摺子 FB-22×22 @100 以内 下棧 FB-22×60 通し 避雷導体仕様</p>	<p>下記のとおりとしてください。 避雷導体仕様は不要です。</p> <p>①外部手摺 C(X8-9 間/B1 通り) ブラケット支持手摺 St 製 水平部 H1150 手摺笠木 FB-22×22 通し 支柱 FB-22×60 @600 以内 手摺子 FB-22×22 @100 以内 下棧 FB-22×60 通し 幕板:FB-12×310 耐水平荷重 1500N/m 溶融亜鉛メッキの上 DP</p> <p>②外部手摺 C(外部庇 1 柱間) 床支持手摺 St 製 水平部 H1150 手摺笠木 FB-22×22 通し 支柱 FB-22×60 @600 以内 手摺子 FB-22×22 @100 以内 下棧 FB-22×60 通し 幕板:FB-12×310 B.PL:60×170×16 @600 以内 溶融亜鉛メッキの上 DP</p>
----	-----------	---	--

		<p>耐水平荷重 1500N/m 溶融亜鉛メッキの上リ酸処理共</p>	
63	A-641・323	<p>1F 外部手摺 C(X8-9 間/B1 通り)について スロープ・外部庇 1 詳細図に指示ございますが、 施工範囲が不明です。 1F 平面詳細図 1 より下記雲マーク範囲と 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> 	<p>宜しいです。</p>

64	A-641・	<p>1F 外部床 X8-9 間/B1 通り) (C 部詳細図)について 下記のことを御指示下さい。</p> <p>①スロープ・外部庇 1 詳細図(C 部詳細図)にカク塗膜防水と指示ございますが、施工範囲が不明です。 上記質疑同様と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。</p> <p>②カク塗膜防水の仕様・メーカー品番が不明です。 御指示下さい。</p> <p>③C 部詳細図に排水溝の図示がございますが、詳細不明です。 塗膜防水 W100×H50・ モルタル仕上 塗膜防水下 防水材入り t30・ 溶接金網 φ2.5-50□ W100 程度と 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>①宜しいです。 ②種別は X-2、田島ルーフィング同等とします。 ③宜しいです。</p>
----	--------	--	---

65	A-641・632	<p>外部庇 1 部の門扉 W900×H850 について各図面より仕様は下記程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>門扉 St 製 W900×H850 ケースハンドル錠 手摺笠木 FB-22×22 通し 支柱 L-45×45 2 本 手摺子 FB-22×22 @100 以内 下棧 FB-22×60 通し 枠・丁番・取付下地・溶融亜鉛メッキの上リ酸処理共 A-641・632 図</p>	<p>下記仕様としてください。</p> <p>門扉 St 製 W900×H850 ケースハンドル錠 手摺笠木 FB-22×22 通し 支柱 FB-22×60 2 本 手摺子 FB-22×22 @100 以内 下棧 FB-22×60 通し 枠・丁番・取付下地・溶融亜鉛メッキの上 DP 共</p>
66	特-004・A-632・641	<p>外部手摺 A・B の避雷仕様・耐水平荷重について図面に指示がありません。</p> <p>全て「避雷導体仕様・耐水平荷重 1500N/m」と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>避雷導体仕様は不要、耐水平荷重 1500N/m で宜しいです。</p>
67	A-319・320・633	<p>外部階段 1・2・3・4・5・7 の階段手摺について耐水平荷重が不明です。</p> <p>耐水平荷重 1500N/m 程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>

68	A-606~609	<p>ルーバー天井内点検用の天井点検口(450角 ケトン式下地 ガルバリウム鋼板 t1.6 コ-15×25×15 四方枠 ガルバリウム鋼板 t1.6 L-15×15 共)について</p> <p>【訂正図(変更箇所赤書き)】A606-609_内外貫通庇詳細図_ルーバー詳細図_240229.pdf (前回の入札時 2024年3月1日に受領) より 99 か所と指示ございますが、内外の取り合い(設置範囲)が不明です。</p> <p>それぞれの指示数量を御指示下さい。</p>	<p>内部 86 ヶ所、外部 13 ヶ所として見込んでください。</p>
----	-----------	--	--------------------------------------

69	A-201・405	<p>1F 軒天(J)エキスパントメタルについて 下記のことを御指示下さい。</p> <p>①仕様は下記程度と考えて宜しいでしょうか。 エキスパントメタル St エクスパントメタル XS31 t2.3 ソロバン目 錆止め塗装(白) エキスパントメタル下地 H\leq1.5 振止め・耐震ブレース補強・ 水平震度 1.0 垂直震度 0.5 耐風圧補強共 耐風圧\pm2000N/m² 以上 松陽産業同等品</p> <p>②廻り縁について、 必要でしたら仕様・詳細を御指示下さい。</p> <p>③壁内部 EP について、 該当範囲はフロア内壁面(RC)のみと 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>①宜しいです。ただし錆止め塗装はグレー色として下さい。</p> <p>②不要です。</p> <p>③宜しいです。</p>
70	A-201・405・641	<p>軒天 羽目板張について 取付下地金物が不明です。 取付下地金物の仕様・詳細を御指示下さい。</p>	<p>振止め・耐震ブレース補強・ 水平震度 1.0 垂直震度 0.5 耐風圧補強共 耐風圧\pm2000N/m² 以上、 錆止め塗装 として下さい。</p>

71	A-201・405・641	軒天 羽目板張の廻り縁について 廻り縁が必要でしたら仕様・詳細を御指示下さい。	不要です。
72	A-201・319	2F 外部通路の床下地(H270 程度)について プラスチック束+鋼製大引き・根太組 2重床工法と指示 ございますが、メーカー品番が不明です。 御指示下さい。	田島ルーフィング鋼製 2重床同等品として ください。
73	A-201・319	上記質疑に関連して、 二重床周囲の納まりについて 鋼製二重床 EXP.Jゴム 8×20程度を見込むと考 えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

74	A-201・319	<p>2F 外部通路の床防水について 下記のことを御指示下さい。</p> <p>①改質アスファルト防水常温複合工法について メーカー品番を御指示下さい。</p> <p>②アスファルト系保護パネル t6 について 仕様・メーカー品番を御指示下さい。</p> <p>③立上り：塗膜防水併用高反射保護塗料仕上 について、メーカー品番を御指示下さい。</p> <p>④立上り高さについて 図示ございません。H200 程度と 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>①田島ルーフィング 同等</p> <p>②田島ルーフィング バリキャップ同等</p> <p>③田島ルーフィング 同等</p> <p>④宜しいです。</p>
75	A-405・406・641	<p>外部庇 1 天井間接照明について 下記のように食い違っております。</p> <p>・天井伏図(凡例:CD-08)庇上部間接照明(レガ壁取合) …炔器質タイル H60×D40/GB-R t 12.5×2+EP</p> <p>・スロープ・外部庇 1 詳細図(B:外部庇間接照明部分断面 詳細図)…間接照明ボックス St L-60×60×4.0</p> <p>照明下地 St PL t1.6 溶融亜鉛メッキ処理・直仕上 /RC 面 DP 塗装</p> <p>スロープ・外部庇 1 詳細図を正と 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>

76	A-319・320・633・ 特-004	外部階段の点字ブロックについて 外部階段 1 以外の外部階段には点字ブロックの指示が ございません。点字ブロックが必要な外部階段は 外部階段 1 のみと考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	宜しいです。
77	特-004・A-319	点字ブロック(外部)について 外部階段 1 以外で点字ブロックが必要な範囲がござい ましたら、範囲図(点字鋏・誘導鋏)を御指示下さい。	A-210 図に記載のとおり、南側の敷地境界から 風除室 1-1 までの経路の誘導ブロックを見込ん でください。
78	A-319・607・211・ 611	外部階段 1 横の目隠しルーバーについて 下記のことを御指示下さい。 ①外部階段 1 詳細図よりルーバー形状の比率は A-607 図「ルーバー特記事項」によると指示ございますが、 A-607 図は内外貫通庇詳細図-2 となっております。 A-611 図の誤記と考えて宜しいでしょうか。 ②目隠しルーバー(外壁)の図示が外部階段 1 詳細図のみ にしかなく、平面図・平面詳細図等にはございませ ん。外部階段 1 詳細図を正と考えて宜しいでしょ うか。 ③A-609 ルーバー詳細図では天井ルーバーの詳細のみとな っております。外壁目隠しルーバーの詳細を御指示下さ い。	①A-609 図を参照下さい。 ②宜しいです。 ③A-319 図右上の「目隠しルーバー詳細」を参照 ください。

79	特-004・A-201・632	<p>定礎について 下記のように食い違っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特記仕様書…御影石本磨き/600×400 t50/掘り込み(無色)/定礎箱 SUS1.6 加工 HL 600×400 t100 ・仕上表…御影石 600×450(文字掘込) ・部分詳細図…御影石 600×450 t35 スクラブ仕上 ダイヤメントブラック/内部空間 480×350×330/定礎箱 SUS1.5加工 200×250×350 桐箱付 内部収納後密封 <p>特記仕様書を正と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。</p>	部分詳細図を正とします。
80	特-004	<p>上記質疑に関連して 定礎御影石(本磨き)t50 の産地・メーカー品番を御指示下さい。</p>	産地、メーカーの指定はありません。
81	A-631	<p>D-01(屋上パラペット、笠木 A 詳細)屋上 3,5 について、 コーナーモルタルの記載がございませんが、見込むと考えて 宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。

82	A-631	<p>D-07(設備機械基礎-下駄基礎)D-08(べた基礎(屋内外)、屋内下駄基礎)について、 各図面右下に、※W・L・H 寸法は基礎リストによると記載がございますが、リストが不明です。 基礎リストを御指示下さい。</p>	<p>平面詳細図を参照ください。</p>
83	特-003・A-631	<p>D-05(屋上ハト小屋詳細)の外壁について、 防水型複層塗材 E が使用されていますが、特記仕様書及び仕上表に記載がございません。 メーカー・品番を御指示下さい。</p>	<p>外装薄塗材 E と読み替えてください。</p>
84	特-002・A-631	<p>屋上パラペット笠木 A の表面仕上について、 下記のように食い違っております。 ・特-002 (7 節:アルミニウム製笠木) : BB-2 種 ・ A-631(D-01) : FEB A-631(D-01)を正と考えれば宜しいでしょうか。 御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>

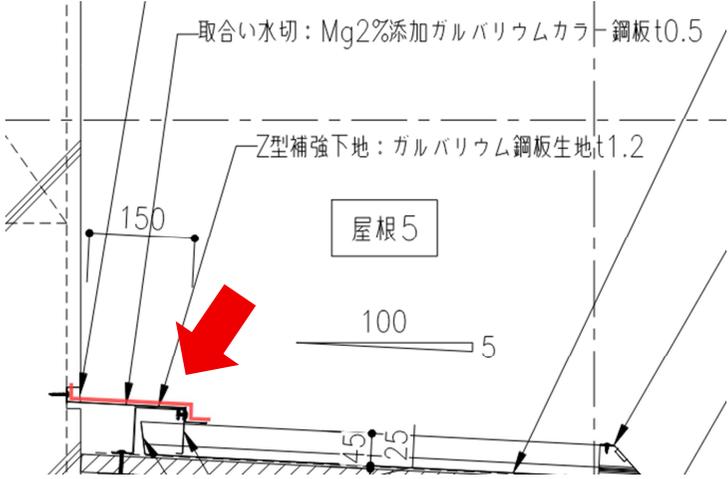
85	A-201・631	<p>屋上 1～6 笠木 A について、下記のことを御指示下さい。</p> <p>①捨て笠木の詳細が不明です。仕様・厚みを御指示下さい。</p> <p>②裏面グラウト吹付の有無が不明です。見込む場合、仕様・詳細を御指示下さい。</p>	<p>①亜鉛鋼板 t0.4 程度とお考えください。</p> <p>②不要です。</p>
86	A-201・601・602	<p>屋根 1～4 金属屋根仕上について、下記のように食い違っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A-201(仕上表):合成高分子系塩ビシート防水 ・ A-601・602(金属屋根詳細図):塩ビ樹脂系シート防水 <p>金属屋根詳細図の塩ビ樹脂系シート防水を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>

87	A-201・603～608	<p>屋根 5～8 について、 下記のように食い違っております。</p> <p>○屋根 5～8</p> <p>・ A-201(仕上表)： 嵌合立平葺 H45 (水密工法) Mg2%添加ガルバリウムカラー鋼板 t0.5 (JIS 認定工場成形品) 改質アスファルト防水常温粘着工法(片面)t1.0 硬質木毛セメント板 t20</p> <p>・ A-603～605(金属屋根詳細図)： 嵌合立平葺 H45 (耐風圧性能 9,800Pa) 水密工法(ホットメルトシーリング 注入) Mg2%添加ガルバリウムカラー鋼板 t0.5 (JIS 認定工場成形品) ゴムアスルーフィング t1.0(片面粘着付) 硬質木毛セメント板 t25</p> <p>詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。</p>	宜しいです。
----	---------------	---	--------

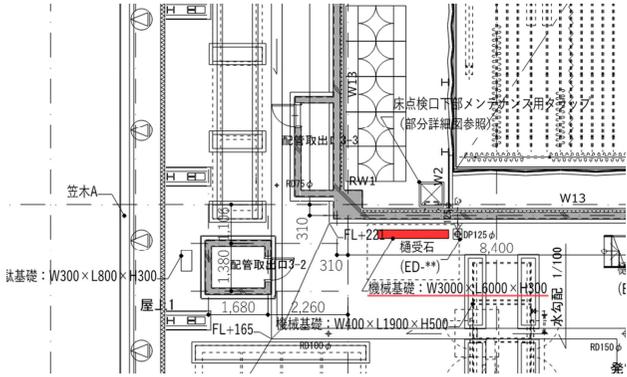
88	A-201・603～608	<p>外部庇 1・2 について、 下記のように食い違っております。</p> <p>○外部庇 1・2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A-201(仕上表) : 嵌合立平葺 H45 (水密工法) Mg2%添加ガルバリウムカラー鋼板 t0.5 (JIS 認定工場成形品) 改質アスファルト防水常温粘着工法(片面)t1.0 硬質木毛セメント板 t20 ・ A-606～608(内部貫通庇詳細図): 立平葺 H35 (耐風圧性能 9,000Pa) 水密工法(防水テープ 併用) Mg2%添加ガルバリウムカラー鋼板 t0.5 (JIS 認定工場成形品) ゴムアスルーフィング t1.0(片面粘着付) 硬質木毛セメント板 t25 <p>詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。</p>	宜しいです。
89	A-604	<p>A-604(金属屋根詳細図-4)N 部(軒先詳細図)について、該当箇所不明です。該当なしと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>屋根 4 の東側、南側端部のうち、屋根 5 との取合部以外の箇所が該当します。A-307 図を参照ください。</p>

90	A-327・328・332	<p>ハ小屋の配管取り出し口について、 下記項目の設置位置・寸法を御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A-328 屋上 1:配管取出口 3-1 ・ A-328 屋上 1:配管取出口 3-2 ・ A-328 屋上 1:配管取出口 3-3 ・ A-327 屋上 2:ハ小屋(B11～B10 間) ・ A-327 屋上 2:ハ小屋(B10～B9 間) ・ A-332 屋上 4:配管取出口 2 ・ A-332 屋上 4:配管取出口 3 	平面詳細図を参照ください。
91	A-214・327・328・332	<p>屋上ハ小屋の高さについて、 A-214(立面図)南立面図より、 ハ小屋の高さは FL+1470 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。

92	A-201・631	<p>屋上及び屋根の丸環について、 下記のように食い違っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A-201(仕上表): Mg2%添加 ガルバリウム珪素樹脂塗装鋼板 t = 0.5 ・A-631(部分詳細図外部-1)D-10: SUS304 HL φ19 PL9×65 L455 かんざし筋 φ13×L600×2本 <p>部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。</p>	宜しいです。
93	特-002・A-327・603	<p>屋根 6～富士見デッキ間の鎖樋(瀬尾製作所「筒」同等品)について、おもりの有無が不明です。 必要な場合、仕様・品番を御指示下さい。</p>	不要です。

94	A-601~608	<p>屋根 5~8 の取合い水切について、取合い水切の寸法が不明です。下記図赤線部を取合い水切 W200×H40 糸 240 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> 	宜しいです。
95	A-603~605	<p>屋根 5~8 の内樋について、内樋立上り部の仕様が不明です。図示より、塩ビ樹脂系シート防水 t1.5 接着工法 (リベットルーフ SW) 硬質木片セメント板 t18 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。

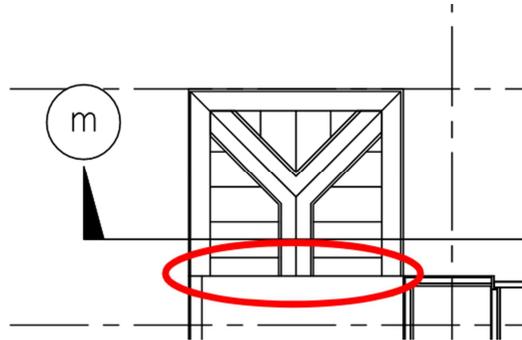
96	A-603～605	<p>屋根 5～8 の笠木について、 A-603～605(金属屋根詳細図)にて 笠木:Mg2%添加ガルバリウム鋼板 t 0.5 補強下地:ガルバリウム鋼板生地 t 1.2 と記載ございますが、下記項目も見込むと考えると 宜しいでしょうか。 塩ビ樹脂系シート防水巻上げ t1.5 ゴムアスルーフイング t1.0(片面接着) 硬質木毛セメント t20 御指示ください。</p>	<p>宜しいです。</p>
97	A-327・328・332・ 631	<p>屋上 1・2・4 の設備基礎について、 機械基礎(キノコ型)とべた基礎の違いが不明です。 H300 をべた基礎、H500・600 を機械基礎(キノコ型)と 考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>

98	A-328	<p>屋上1の設備基礎について、 下記図面赤線部に $W3000 \times 6000 \times H300$ と記載ございますが、下記図面赤部分の寸法は $W2000 \times 250$ と、食い違っております。 $W2000 \times 250 \times H300$ を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> 	宜しいです。
99	A-328	<p>屋上1の発電機置場について、 機械基礎の寸法が不明です。 $W3760 \times 400 \times H600$ の機械基礎(キノコ型)×2 を施工 すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。

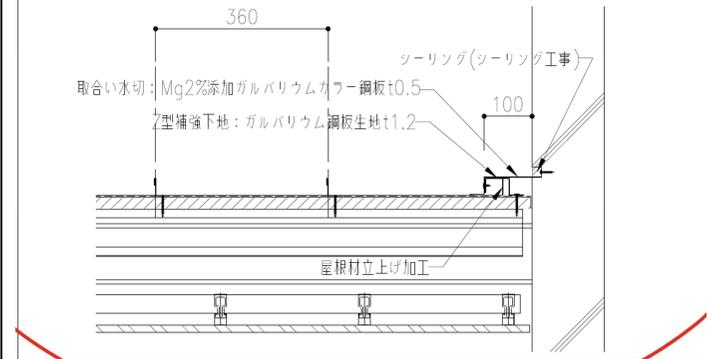
100	A-308・328・631	<p>屋上 1 の消音ルバー基礎について、 基礎寸法が不明です。 見付及び軒天の詳細は A-631(部分詳細図)D-07 設備 機械基礎と同様とし、高さは A-308(矩計図)より H430 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>構造図 S-063 詳細図を参照下さい。</p>
101	A-331・332・631	<p>屋上 3・5 排水溝について、 A-331・332(平面詳細図)より、勾配による排水のため、 排水溝該当なしと考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
102	A-606・608	<p>外部庇 1 の下り棟包みについて、 下り棟包み部の詳細が不明です。 A-608(内外貫通庇詳細図)m部と同様と考えて宜し いでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>

103 A-608・609

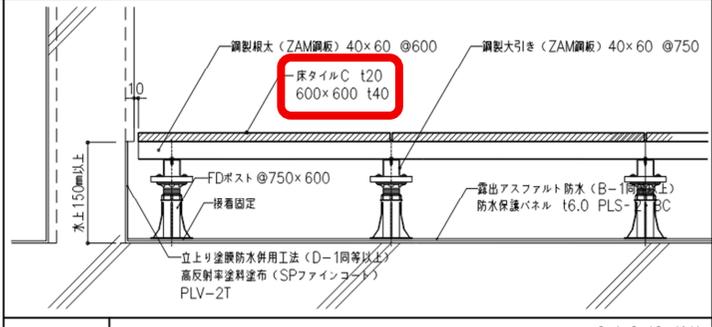
外部庇 2 の外壁(北側)取合水切について、
下記図赤丸部(庇と外壁の取合)の詳細が不明です。
仕様・詳細を御指示下さい。



n部 外部庇 庇詳細図 S=1/10



上記の様にお見込み下さい。

104	A-201・632	<p>富士見デッキ床タイルについて、下記のように食い違っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A-201(仕上表):床タイル t 20 敷 ・A-632(部分詳細図 D-17): 床タイル C t20 600×600 t40(下記赤枠内) <p>床タイル C 600角 t20 と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。</p> <table border="1" data-bbox="589 566 1301 627"> <tr> <td data-bbox="589 566 696 627">D-17</td> <td data-bbox="696 566 1193 627">屋根保護防水工法 (B-1) 防水保護パ 札張りの上 床タイル t20</td> <td data-bbox="1193 566 1301 627">S=1:10 (A1) S=1:20 (A3)</td> </tr> </table> 	D-17	屋根保護防水工法 (B-1) 防水保護パ 札張りの上 床タイル t20	S=1:10 (A1) S=1:20 (A3)	宜しいです。
D-17	屋根保護防水工法 (B-1) 防水保護パ 札張りの上 床タイル t20	S=1:10 (A1) S=1:20 (A3)				
105	A-632	<p>富士見デッキの排水溝について、排水溝の寸法が不明です。 W300×H200 糸 700 程度と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。			

106	A-632	<p>A-632(部分詳細図)D-18(乾式浮床部ステンスグレーチング)について、 下記のことを御指示下さい。</p> <p>①ステンス製グレーチング(歩行用 滑り止め模様付 3mmフラットバー P=13)と記載ございますが、 施工範囲不明です。御指示下さい。</p> <p>②根太に対して「St-2.3 22×40 ZAN 鋼板加工」と指示ございますが、D-17の鋼製根太(ZAN 鋼板)40×60@600に読み替えると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>A-326 図の風除室 2-1 外部側の 「SUS グレーチング W150 細目 歩行用」と記載のある箇所が該当します。</p>
107	A-632	<p>富士見デッキ二重床下の防水保護^ハネ t6 の仕様・メーカー品番が不明です。御指示下さい。</p>	<p>田島ルーフィング バリキャップ同等品として下さい。</p>
108	A-632	<p>外部手摺 B 足元基礎の塗膜防水について仕様・メーカー品番が不明です。御指示下さい。</p>	<p>田島ルーフィング PLV-T 同等品として下さい。</p>
109	A-632	<p>部分詳細図(外部-2)D-22 オーバーフロー管の両面小口防鳥網φ46について仕様不明です。御指示下さい。</p>	<p>既製品のオーバーフロー管防虫網とお考えください。</p>

110	A-201・631	<p>下記防水仕上について、メーカー品番を御指示下さい。</p> <p>①屋上 1,2,4,6…断熱アスファルト防水 BI-1 断熱材 ポリスチレンフォーム t75 アスファルトルーフィング 絶縁用シート</p> <p>②屋上 1,2,4,6 立上り他…ウレタン塗膜防水 X-2 高反射率塗料塗布</p> <p>③屋上 1,2,4,6 アゴ 水切天端他…ウレタン塗膜防水 X-2</p> <p>④屋上 3,5…シート防水 合成高分子系 SI-M2 t1.5 断熱材 ポリスチレンフォーム t75 防湿用フィルム 絶縁用シート</p> <p>⑤屋上 3,5 立上り他…シート防水塩ビ樹脂系 t1.5</p>	<p>①アスファルト防水 保護断熱絶縁仕様 <u>PX-035R</u> ※BI-1 同等</p> <p>②ウレタン塗膜防水 高反射塗料仕上げ <u>OATM-3C</u> ※X-2 同等、高反射塗料仕上げ仕様</p> <p>③ウレタン塗膜防水 水切り天端他 ・ウレタン塗膜防水メッシュフリー工法 <u>GO-3VA</u></p> <p>④塩化ビニル樹脂系シート防水 t1.5 高反射塗料仕上げ <u>VIT-U815R-CC</u> SI-M2 同等</p> <p>⑤同上の立上り仕様ですので、仕様番号は <u>VIT-U815R-CC</u> 立上りとして下さい。</p>
111	A-201	<p>アルミ庇(アルミニウム庇 ヒカシ株式会社/PFH22 キャンチタイプ 奥行 700 タイプ 同等品)について 外部仕上表に指示ございますが、 該当範囲が不明です。御指示下さい。</p>	<p>設置範囲は A323、324 図を参照ください。 ゴミ庫前、荷捌き及び風除室 1-3 前、廊下 1-3 突当り (X14 通付近)、階段 4-1 北面が該当します。</p>
		<p>【内部】</p>	

112	A-321 A-200	<p>各階平詳図 右下備考 「特記外 LGS 壁は 100」とすると記載がありますが A-200 2 列目 仕上特記 12.【軽鉄壁下地の仕様】を優先し高さごとにスタッドを使い分けると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
113	A-206 A-301	<p>壁記号 W1 石膏ボード二重張りの一般壁図示ではボードは天井まで LGS 下地はスラブ下までの表記ですが RC 壁面に添え壁で W1 が使われている場合(例.3F 大楽屋)は LGS 強度が不要と思われるので壁高さによらずすべて LGS65 型と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
114	A-206 A-322	<p>壁記号 耐火壁 F1~F4 平詳図では FW になっているようです。 (例)A-322 A6/X3 通り 消火ポンプ室 FW4 FW1~4→F1~4 と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。</p>	宜しいです。
115	A-206	<p>壁記号 耐火壁 F1 ボードの種類と参考メーカー品番を御指示下さい。</p>	<p>繊維強化石膏ボード、吉野石膏 S12 同等品 タイガーボード・タイプ Z 12.5 mm</p>

116	A-206	壁記号 耐火壁 F2 ボードの種類と参考メーカー品番を御指示下さい。	繊維強化石膏ボード、吉野石膏 Sウォール同等品 タイガーボード・タイプ Z 21 mm
117	A-206	壁記号 耐火壁 F3 ボードの種類と 参考メーカー品番を御指示下さい。	繊維強化石膏ボード、吉野石膏 S12 同等品 タイガーボード・タイプ Z 12.5 mm
118	A-206	壁記号 耐火壁 F4 ボードの種類と参考メーカー品番を御指示下さい。	繊維強化石膏ボード、吉野石膏 Sウォール同等品 タイガーボード・タイプ Z 21 mm
119	A-206 A-325	壁記号 W11 有孔シ合板 出隅、入隅、端部に役物見切は不要と考えて宜しい でしょうか。納まり詳細図を御指示下さい。 (例. 2F 卓球場ほか)	平詳に「○W」と記載のある出隅部は、A-207 図 の壁見切 3 の A の納まりとしてください。
120	A-206 A-325	壁記号 W19 シ合板 出隅、入隅、端部に役物見切は不要と考えて宜しい でしょうか。納まり詳細図を御指示下さい。 (例. 2F 卓球場ほか)	質疑 119 による。

121	A-206 A-638(D141 142)	壁記号 W16 地下外壁二重壁裏排水溝・立上り・水抜きパイプについて 部分詳細図(内部-5) D-141 には納まりの図示がありません。部分詳細図(内部-5) D-142 に倣うと考えて宜しいでしょうか。否の場合、納まりの図示を御指示下さい。	宜しいです。
122	A-321 A-322 A-638(D142)	地下外壁二重壁 壁点検口 寸法について、下記の様に食い違います。 ・B1F 平面詳細図 1・2:450 角 ・部分詳細図(内部-5) D-142:390 角 部分詳細図(内部-5) D-142 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
123	A-202 A-207	仕上表 天井 ガルバリウム製ルーバーの下地「15」とありますが A-207 エlement図の C15 は羽目板張です。 ガルバリウム製ルーバーの下地材種・仕様を御指示下さい。	特-002 図の 4 節 06 を参照ください。

124	特-004 A-200	<p>外壁面の内側断熱材 特記(19-08)：不燃コート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内装不燃要求の部屋等～のウタンフォーム類に施す <p>仕上特記仕様書 16.特記事項【内装工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁及び梁は吹付硬質ウタンフォーム(ノンロン)t50 ・仕上表に準不燃要求のある居室及び EPS、ELV ビットは不燃断熱材とする <p>などと複数の指示があり 断熱範囲図もないため使い分けが不明です。 火災リスク低減を考慮し吹付断熱材はすべて A-201 仕上材料表の不燃断熱材 t50(エスケー化研 セラミライトG 同等品)を採用すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
125	A-202 A-305	<p>B1F 駐車場 天井 不燃断熱材 t50 セメントファイバー吹付ですがエスケー化研 セラミライトG 同等品の上に下地調整材を吹付けるのでしょうか。御指示下さい。</p>	セラミライトG 同等品を仕上り面とし、 下地調整材吹き付けは不要とします。

126	A-405 A-302 A-200	<p>いろはみち他 ルバー天井 天井裏の LGS 下地天伏図詳細 CD-01 他に SOP とあります。</p> <p>A-200 仕上特記仕様書 16.特記事項【内装工事】ルバー天井とボード天井の切り替わり部は黒色塗装とあります。ルバー裏天井内の壁面・スラブ下面・設備機器面は</p> <p>SOP 黒色と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
127	特-004	<p>特記 20-21 a. 天井点検口</p> <p>カ工業 ハイッチ M アラス同等品目地タイプとありますのでカ工業 ハイッチ MMⅡf 同等品考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
128	A-404	<p>B1F 天伏図</p> <p>天井点検口の数量が記載されていますが一般 A はすべてカ工業 ハイッチ MMⅡf 同等品考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。

129	A-404 A-609	B1F 天伏図 ルーバー B 天井点検口の数量 100 か所ですが A-609 ルーバー特記事項では 99 か所と食い違っています。99 か所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
130	A-611~614 A-615~617	サイン案内図-1・3・4 が重複しているようでサインプロット数量が不明です。サインの数量はサイン詳細図の合計数量を正として宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
131	A-615	サイン C-1 と C-4 壁付室名サイン 合計数量が 29 か所です。 C-1 と C-4 の数量振り分けを御指示下さい。	C-1 : 25 ヶ所 C-4 : 4 カ所 としてください。
132	A-312 ～ A-318	いろはみち 階段 2~7 手摺 不特定多数なエリアの手摺の耐水平荷重は 3000 N/m と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
133	A-318-2	階段 8 の手摺 A・B・C バックエリア手摺の耐水平荷重は 1500 N/m と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

134	A-505	<p>ホール詳細図</p> <p>HD-15・16 すのこ手摺 A・B</p> <p>HD-09・10 キャットウォーク手摺 1・2</p> <p>手摺の耐水平荷重は一般部として 1500N/m と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
135	A-505	<p>すのこ手摺 B について、</p> <p>支柱のピッチは、900 内外と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
136	A-512	<p>アリーナ手摺 A1・A2・A3、B・C・D</p> <p>不特定多数なエリアの手摺の耐水平荷重は 3000N/m と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
137	A-302 A-305	<p>アリーナキャットウォーク手摺 A・B・C</p> <p>手摺の耐水平荷重は一般部として 1500N/m と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。

138	A-302 A-307 A-210	1階床のRCスラブ EXP.J A-302 図：エラスト t20 A-307 図：スリット GW の使い分けが不明です。平面図で範囲を御指示下さい。	エラスト t20 で統一してください。
139	A-307 A-644	矩計図 3F 控えの間 天井 A 部左下に詳細図がありますが ここは EXP.J が -07 の位置ですが材種・形状が異なります。EXP.J が -07 を正と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	矩計図を正としてください。
140	A-425	AW 膳板・額縁の仕様は A-425 図に代表的な例として AW-201 が記載されておりますが他の AW(AW-102 など)は AW-201 に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

141	A-202 A-301 A-304 S-021	1F 舞台の床仕上・床下地について、伏図で袖舞台も含めて SL=FL-300 となっておりますが、仕上表・矩計図では一部 SL=FL-40 となっております。 仕上表・矩計図を正とし、一部 SL=FL-40 範囲を汁合板範囲と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
142	A-324 A-304	1F 舞台裏スペース 平詳図 A10 通り 点検用ハッチ 450 角が 2 か所のメーカー・品番を御指示下さい。	その他の床点検口と同仕様としてください。
143	A-324	1F 舞台の床仕上について、 ヒノキ床～汁合板取合に床見切は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
144	A-301	1F 舞台の壁仕上について、 SLW+回転扉上部に RC 垂壁があり、ホール壁仕上 a を施すようになっておりますが、GL 工法で納めるのでしょうか。御指示下さい。	UL 工法としてください。
145	A-405 A-501	1F 舞台の天井仕上について、 天井伏図で M:内装薄塗材の記載がありますが、具体的な範囲を御指示下さい。	M:内装薄塗材の記載は誤記です。該当箇所はありません。

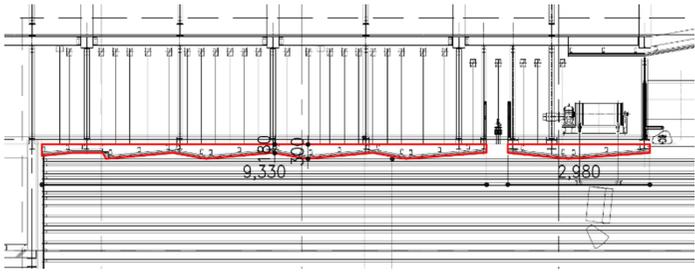
146	H-103 A-501	舞台機構設備 配置図(断面)について、 舞台上部の天井仕上に内装薄塗材 A とありますが、 EP と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
147	A-405	1F 袖舞台の天井伏図について、 カーテンレールがありますが、この部屋は直天です。 スラブ面に直付けする場合、一部梁型がある為、設置 出来ないように思われます。この部屋のカーテンレールの仕 様を御指示下さい。	天井伏図に記載の範囲のうち、梁型部を除いた直 天部分に直付けするものとお考えください。
148	A-304 S-021	1F ホール客席の床下地について、 矩計図-4 で A3～A4 通り間が RC スラブ面に 直仕上となっておりますが、 伏図では SL-200 です。 床下地は全面鋼製床組 H200 と考えて 宜しいでしょうか。御指示下さい。	矩計図を正としてください。
149	A-306	1F ホール客席の床下地・床仕上について、 矩計図-6 で壁際に角材のような図示がありますが、 何を示しているのでしょうか。 詳細を御指示下さい。	A-503 を参照下さい。

153	A-304 A-502	1F ホール客席 背面側の間仕切壁について、 矩計図-4 で石膏ボード t12.5×2 両面とありますが、ホ ール壁エレメント図 e では、石膏ボード t15×2 両面です。ホ ール壁エレメント図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示 下さい。	宜しいです。
154	A-204 A-207	2F ホール客席 2-1 の天井仕上について、仕上表で有孔 ケカル板 EP とありますが、エレメント図の天井 C13 は有 孔合板 OSCL です。仕上表の有孔ケカル板 EP を正 とし、有孔ケカル板の仕様はホール客席の背面壁に倣うも のと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-502 図の天井エレメント図の D (石膏ボード t15×2 EP) としてください。
155	A-326 A-502	2F フロントギャラリーの壁仕上について、ホール正面展開図で ホール壁エレメント図 c となっておりますが、平面詳細図よ り LGS 壁ですので、ホール壁エレメント図 a と読み替えて 宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
156	A-204 A-502 A-503	2F フロントギャラリーの天井仕上について、仕上表で石膏 ボード t12.5+12.5 とありますが、ホール詳細図にある石 膏ボード t15+15 を正と考えて宜しいでしょうか。御 指示下さい。	宜しいです。

157	A-204	2F フロントギャラリーの天井廻縁について、PVC とありますが、種類は M2 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
158	A-204	2F 親子席の床下地について、仕上表で鋼製床組 H150 とありますが、エレメント図床 F9 は OA フォアです。OA フォア H150 を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	仕上表の床下地番号が誤記で F13 が正とです。エレメント図 F13、構成床組を参照ください。
159	A-207 A-501	2F 親子席のカーテンボックスについて、ホール詳細図で W100 とありますが、エレメント図の B.B-1 は W120 です。W120 を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
160	A-501	2F 親子席・調整室のカーテンボックスについて、カーテンボックスのみ建築工事としボックス内のカーテンレール及びカーテン本体は建築工事外と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

161	A-505	ホール詳細図 HD-12:吊ハ イ° 詳細図について、支柱のピ ッチが図示(@1690)と文言(@1500)とくい違ってお ります。文言の@1500 を正と考えて宜しいでしょ うか。御指示下さい。	宜しいです。
162	A-505	ホール詳細図 HD-12:吊ハ イ° 詳細図について、鉄部の 仕上は SOP と考えて宜しいでしょうか。御指示下さ い。	宜しいです。
163	A-205 A-407 A-501	3F フォー스포 ットについて、仕上表備考欄にブラインドボッ クスとありますが、天井伏図にありません。この部屋 には不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
164	A-501 H-212	3F フォー스포 ット 衝突防止用床固定アングルについて、舞 台照明設備図で□40mm とありますが、L-50×50 を 正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
165	A-501	3F フォー스포 ット 衝突防止用床固定アングルについて、厚 みは t5、仕上は SOP と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	宜しいです。

166	A-318-2 A-326	2F 階段 8 の壁・天井仕上について、壁仕上は GWt50、柱型・梁型・天井仕上は RC 打放補修と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
167	A-326	2F 階段 8 及び照明盤置場について、柱型が RW3 となっておりますが、RW2 と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
168	A-328	3F 階段 8 について、柱型が RW1 となっておりますが、RW2 と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
169	A-328	3F 配線スペースについて、柱型が RW1 となっておりますが、RW2 と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
170	A-330 A-502	ホール上部 キャットウォーク～舞台階段 1・2 について、開口がありますが、三方枠を設置するようでしたら、仕様・寸法・仕上など詳細を御指示下さい。	三方枠を設置として下さい。仕様は SF001 と同等をお見込み下さい。

171	A-636	舞台階段 1・2 詳細図について、隙間塞ぎ:GWt50 詰の上 StPLt1.6SOP とありますが、断面形状・詳細寸法を御指示下さい。	ササラの下端・上端にプレート設けその間に GW 敷き込みとして下さい。
172	A-501 A-505	ホール詳細図にある天井伏図について、舞台機構開口部:小口塞ぎ StPL-t1.6SOP とありますが、すのこ手摺詳細では StPL-t6 です。すのこ手摺詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
173	A-503 A-505	すのこ手摺 A・B 詳細について、舞台天井幕板立上: StPL-t6 の H 寸法は H400 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
174	A-501	舞台上部について、ワイヤ-開口部:小口塞ぎ StPL-t1.6SOP とありますが、断面形状・詳細寸法を御指示下さい。	 <p>添付の赤囲い部を塞ぐものとお考えください。</p>

175	A-501 A-502 A-505	キャットウォーク 1・2 下の天井 GB-R について、HD-09・10 詳細では t12.5×2 ですが、天井伏図では t15×2 です。天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
176	A-501 A-502 A-505	キャットウォーク 1 下の天井下地について、HD-09 詳細で L-50×50×1.6@280 とありますが、ホール天井エレメント図では C-100×50×20×2.3@900 の高天井下地です。HD-09 詳細を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
177	A-504	舞台・ホール内の壁面木ルーバーについて、背面壁上部(C 展開の上部)は有孔ケイカル板面に施すようになりますが、納まり詳細を御指示下さい。	有孔ケイカル板の下地面内に胴縁@600 以内を設けるものとして見込んでください。
178	A-504	舞台・ホール内の壁面木ルーバーについて、2～3F 間に塞ぎプレートがありますが、形状・寸法は延焼防止プレートに倣うものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

179	H-118 A-503 A-504	舞台機構設備 回転側壁の仕上について、建築詳細図参照とありますが、A-503 図ではホール壁エレメント図 a 仕上と記載があるのみです。木ルバーも設置するようですので、A-504 図にある木ルバー平面詳細断面図の仕様で見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
180	H-118	舞台機構設備 昇降床(下段)の仕上について、フローリング t15 のメーカー・品番を御指示下さい。	複層フローリング C 同等としてください。
181	H-118	舞台機構設備 昇降床(上段)の仕上について、桧集成材 t24 の仕様は、舞台同様に塗装品と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
182	H-118	舞台機構設備 昇降床の框について、塗装は OSCL と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
183	H-118	舞台機構設備 昇降床の幕板について、構造用合板面・シ合板面とも塗装の種類は、OSCL と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

184	H-118	舞台機構設備 客席ワゴンの仕上について、複合フローリング t15 は、複合フローリング C と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
185	H-118	舞台機構設備 客席ワゴンの仕上について、立上りも複合フローリング t15 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
186	H-118	舞台機構設備 客席ワゴンの仕上について、見切:堅木 20×20 の塗装は OSCL と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
187	H-118	舞台機構設備 階段ワゴンの仕上について、客席ワゴンの仕上に倣うものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
188	H-118	舞台機構設備 仕上げ詳細図について、上部着脱式スリットカバーが建築工事となっておりますが、仕様・寸法・個所数など詳細図を御指示下さい。	添付資料 H-118 図 質疑№188 及び H・追加図「スリットカバー参考図」を参考にしてください。

189	H-100 H-118	舞台機構設備の工事区分表について、26.昇降床点検口工事が建築となっておりますが、H-118 図にあるどれを示しているのでしょうか。仕様も合わせて御指示下さい。	添付資料 H-118 図 質疑No189 「昇降床 床面点検口参考図」を参考にしてください。
190	H-100 H-118	舞台機構設備の工事区分表について、32.昇降床フローコンクリート用床面下地の補強工事が建築となっておりますが、詳細を御指示下さい。	アングル L50 による四周補強をお見込み下さい。
191	H-100 H-118	舞台機構設備の工事区分表について、42.客席ワゴン点検口工事が建築となっておりますが、H-118 図にあるどれを示しているのでしょうか。仕様も合わせて御指示下さい。	添付資料 H-118 図 質疑No191 「客席ワゴン 床面点検口参考図」を参考にしてください。
192	H-100	舞台機構設備の工事区分表について、58.昇降床インターロック制御信号配線工事が建築となっておりますが、詳細図を御指示下さい。	添付資料 H-109 図 質疑No.192 及び H-119 図 質疑No.192 参照 昇降床インターロック制御信号配線工事は、床機構制御盤から移動観覧席制御盤までの配線工事であり、移動観覧席設備にてお見込みください。床機構制御盤内には制御線用端子を設けています。

193	H-106・107 H-113	舞台機構設備 ホール断面 頂部トラス梁下部 L:搬入フックの図示があります。H-113 図 すのこ部材表に L : 建築図参照 2t 吊フックとありますが建築図には見当たりません。2t 吊フックの詳細を御指示下さい。	添付資料 H-106 図・H-107 図・H-113 図 質疑№193 及び H-追加図 「吊フック参考図」を参考にしてください。
194	H-113	舞台機構設備 ホール下段すのこ平詳面 吊フック下部がありますが脱着方法が不明です。開閉部材と周囲納まり詳細を御指示下さい。	添付資料 H-115 図 質疑№194 及び H-追加図 「客席すのこ 機器搬入口 参考図」を参考にしてください。
195	A-645	1F リハーサル室の防振浮床について、コンクリート内の配筋要領を御指示下さい。	D10@150 タテヨコ、シングルとしてください。 □
196	A-645	3F 会議室 3・4 の防振浮床について、コンクリート内の配筋要領を御指示下さい。	D10@150 タテヨコ、シングルとしてください。 □
197	A-645	1F リハーサル室と 3F 会議室 3・4 の防振浮床床キーストンプレートが 1F リハーサル室：遮音工事 3F 会議室 3・4：遮音外工事となっております。 3F 会議室 3・4 のキーストンプレートは遮音工事に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

198	A-645 A-306	<p>3F 会議室 3・4 天井 防振遮音天井の石膏ボード枚数が食い違います。 詳細図：GB-R15tx2(リハール室と道場は GB-R15tx3) 矩計図：石膏ボード t15x3GB-R15tx2 が正と考えて 宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
199	A-645	<p>1F リハール室の防振浮床について、壁際周囲の台座プレートが 150×150 とありますが、コンクリート厚が t130 ですので 150×130 と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
200	A-645	<p>1F リハール室の防振浮床について、周囲の台座プレートは壁際通しで設置するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
201	A-645	<p>1F リハール室の防振浮床について、周囲の GW 立上り寸法が H350 とありますが、H300 と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。

202	A-532	<p>B1F 道場 畳寄せ 1・2 共に集成材の記載ですが樹種が不明です。御指示下さい。また、無垢材のまま表面処理は不要として宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。</p>	<p>タモ集成材 OSCL 仕上として下さい。</p>
203	A-322	<p>B1F 道場 平詳図に床点検口の記載がありますが、仕様が不明です。御指示下さい。</p>	<p>化粧蓋床点検口</p> <p>※防水・防臭型</p> <p>600</p> <p>600</p> <p>外枠: ステンレス</p> <p>畳補強材</p> <p>ボルト固定</p> <p>平面図</p> <p>内枠: ステンレス</p> <p>床仕上と同材質</p> <p>ゴムパッキン (周囲)</p> <p>上記の様にお見込み下さい。</p>
204	A-517	<p>B1F 道場 コートライン L150×150 ペイントの種別が不明です。御指示下さい。</p>	<p>セノー: コートライン同等品をお見込み下さい。</p>

205	A-322 A-517	B1F 道場 X1/A11 通り「上段」の壁仕上 平詳図 壁記号 W9：天然木練付板 DD-01 上段詳細 図：内装薄塗材食い違います。天然木練付を正とし て宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
206	A-517	B1F 道場 上段詳細図 縦柵・上柵 部材寸法は 133×20 程度と考える て宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
207	A-531	1Fアリーナ 床下換気口 200×1000(アルミ 木目調塗装)材厚、孔@等の 詳細が不明です。詳細又はメーカー品番を御 指示下さい。	三洋工業の同等品をお見込み下さい。
208	A-513	1F アリーナ AW-103 廻り 膳板はサッシに床材突付け(膳板なし)、額縁は 集成材 170×30OSCL と考えるて宜しい でしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
209	A-516	1F アリーナ コートライン ペイント種類が不明です。御指示下さい。	セノー：コートライン同等品をお見込み 下さい。

210	A-302・516	1F アリーナ 電動防球ネット 設置範囲(ネット巾)寸法が不明です。御指示下さい。	W31550×H10500 として下さい。
211	A-512	詳細図 AD-04 アリーナ手摺 D の支柱 何ピッチ配置なのか不明です。@を御指示下さい。	@1050 程度として下さい。
212	A-510・511	1F リハーサル室雑詳細図 壁面コネクター盤隠蔽パネル St プレートの厚みが不明です。御指示下さい。	T2.3 としてください。
213	A-510・511	1F リハーサル室 鏡貼り 鏡厚、鏡仕様が不明です。御指示下さい。	鏡 t6 枠 SUS t 1.0HL 仕上 裏板コネクター t12 共
214	A-203 A-510・511	1F リハーサル室 仕上表 床 複層フローリング D/振浮床 H300/下地 15 とあり エレメント図 床 15 ではフローリングの捨貼コネクター図示がありません。捨張コネクター t15 を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

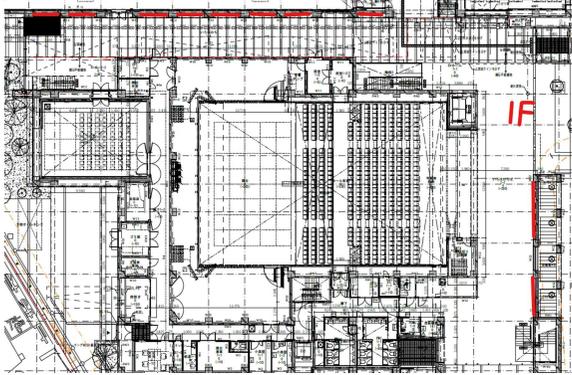
215	A-511 A-510	1F リハール室 展開図 D 鏡貼上部壁 □-100×100×2.3 で持ち出し壁ですが縦材@ヨコ材@が不明です。また、壁躯体から持ち出している部材の部材寸法等も併せて御指示下さい。	ﾀ@900、ヨコ@1800、持出し□-100×100×2.3 と して見込んでください。
216	A-205	3F 矢道 仕上表床下地「図示」とありますが詳細が不明です。下地 1 に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
217	A-327 A-307	3F 矢道/矢取道 平詳図 床：3FL-300 とありますが矩計図では範囲が不明です。適用される場合は範囲及び下地組の仕様・詳細を御指示下さい。	「3FL-300」は誤記となります。 矢道の構造スラブは FL-40 が正となります。
218	A-307	3F 的場安土 矩計図 安土・表層：別途工事安土・土間：川砂+おがくず耐圧(階段状)とありますが土間(浸透性表面強化剤)の部分は嵩上ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 t100 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

219	A-205・206	3F 巻藁室 壁:沓合板 板厚さは 9.0mm と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
220	A-201・207	3F 矢場・的場安土 天井 高圧木毛セメント板 板厚さ・塗装が下記のように違いがあります。 ・ 元図 下地 12 : t25/EP-G ・ 仕上材料名表示凡例 : t20/EP t20/EP と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
221	A-207・307	3F 矢場・的場安土 天井 元図 下地 12 : 木毛セメント板打込は矩計図より LGS 下地直貼りに読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
222	A-407	天井凡例 折上 A 堅木練付材(タ) 図中の指示寸法 12×40 ですが、図示より、20×20 に読み替え宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
223	A-407	天井凡例 折上 A 堅木練付材(タ) CL 塗装を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

224	A-327	3F 射場 床見切:珞集成材 W150×H40 CL 塗装を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
225	A-327・408	3F 射場 鏡:1200×2100 ガラス種別・枠の仕様及び取付下地材の仕様・寸法を御指示下さい。	鏡 t5 枠 SUS t 1.0HL 仕上 t12.5 石膏ボード 2 枚張りの上直貼り
226	A-205 A-220	3F 矢道 消火器ボックス 下記のようにくい違います。 ・ 仕上表備考：埋込型 ・ 防災計画図：壁掛型（△S 記号） 防災計画図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
227	A-205 A-622	3F 矢道 仕上表備考 下足入れ 家具案内図他では図示がございません。 設置無しと考えて宜しいでしょうか。 設置される場合は仕様・寸法及び設置箇所を御指示下さい。	宜しいです。

228	A-201・205	3F 的張室・看的室 仕上表備考 流し台 仕上材料名表示凡例 雑:流し台ユニットを適用と考えて 宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
229	A-407 A-671	3F 矢道 B2 通り ブラインドボックス(凡例/B-B-1)設置部ブラインドは別途工 事と考えて宜しいでしょうか。 建築工事の場合はブラインド仕様・寸法を御指示下さい。	宜しいです。
230	A-426	3F 矢道 サッシ(AW302)廻りスチール製額縁 SOP 塗装を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さ い。	宜しいです。
231	A-203・206	1F 風除室 1-4 など 仕上表の床 防水Nの上靴拭きマットとありますがエレメント図より防水 M(防水モルタル)に読替えて宜しいでしょうか。御指示 下さい。	宜しいです。

232	A-201・206	<p>風除室靴拭マット下の塗膜防水 エlement図 床 20 靴拭きマット下に塗膜防水 Y-2 とありますが、材料表ではポリマーセメント系塗膜防水とあります。靴拭マット下塗膜防水のメーカー品番を御指示下さい。</p>	<p>Y-2 : ゴムアスファルト系塗膜防水ハルエースコート T-40 同等品としてください。</p>
233	A-206	<p>風除室の靴拭マット エlement図 床 20 靴拭きマットと壁の取合に巾木のような金物がありますが有無・仕様が不明です。必要な場合には見切金物の仕様を御指示下さい。</p>	<p>不要です。</p>
234	A-406	<p>天井凡例 アーチ部ダウンライト(CD-11) 照明ボックス スチール面の仕上は SOP 程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>

235	A-638 A-519・520	<p>部分詳細図 D-144 壁アーチ部の雑物 ロイヤル棚柱が 1 アーチにつき 30 個で計 240 個 ピクチャーレールは計 10 箇所 可動棚と可動掲示板は計 10 箇所とありますがロイヤル棚柱(8 箇所)とピクチャーレールなどの 10 箇所がどの壁アーチ部に設置するのか不明です。平面図で設置場所を御指示下さい。</p>	 <p>上記の箇所として下さい。</p>
236	A-519・520 A-202~205	<p>共用部詳細図 右下欄外 ※2:特記無き限り巾木は木巾木 H=60 とすると記載がありますが 1F いろはひろば 1-1 やいろはみち 1-1 など仕上表で巾木はありません。各部屋の巾木は、仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。 上記で否の場合は、正式な仕上表(巾木の仕様、高さを記載したもの)を御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
237	A-406	<p>天井凡例 庇上部間接照明(CD-08) 間接照明先端見切 W40×H60 の仕様を御指示下さい。</p>	<p>せっ器質タイルとし、留付は本業務での調整事項とします。</p>

238	A-406	天井凡例 庇上部間接照明(CD-08) 設置バル調整台座：アル既製品とありますが台座のメーカー・品番、厚みなどの仕様を御指示下さい。	メーカーの指定はございません。 嵩上げ手法については適宜お見込みください。
239	A-406 A-302	1Fいろはみち 1-1 庇上部間接照明(CD-08) A-406 詳細図で下り壁のポート GB-Rt12.5+12.5 が RC 面に直張りで書かれていますが、A-302 矩計図 X8 通りより下り壁のポート裏は LGS と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
240	A-405・407	1階 X6/A5 通り 階段 3 壁際上部など 折上天井:折上 D A-407 詳細図で下り壁部分と天井幕板部分が天井仕上材となっていますが、天井仕上はガルバリウム製ルーバーです。天井仕上がガルバリウム製ルーバーの場合の折上 D の納まり詳細図を御指示下さい。	ガルバリウム製ルーバー部は折上 C と読み替えてください。
241	A-312	階段 2 木手摺のブラケット 手摺 A 詳細図※B1F~1F 部分 : @850 段部・手摺 A・手摺 B 詳細図※1F~2F 部分 : @800 手摺 C 詳細図 : @850 階段 2 の木手摺のブラケットは@850 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

242	A-422	<p>いろはみち 1-1 のサッシ(GCW-103)</p> <p>サッシの膳板は不要(建具に含まれる)と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は膳板の仕様形状・寸法詳細を御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
243	A-422	<p>いろはみち 1-1 のサッシ(GCW-103)</p> <p>サッシの額縁縦枠は不要(建具に含まれる)と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は額縁縦枠の仕様形状・寸法詳細を御指示下さい。</p>	<p>縦枠断面図を参照ください。</p>
244	A-422	<p>いろはみち 1-1 のサッシ(GCW-103)</p> <p>上枠詳細図で天井^ハ_ネ:金属工事とありますが天井^ハ_ネ(額縁上枠)はスチール t1.6 SOPW410×H290 糸700 程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
245	A-404	<p>B1F 風除室 B1-1(X7/A4 通り)</p> <p>天井伏図で折上 C とありますが、指示された場所には CD-01 があり重複しています。折上 C は誤記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p> <p>折上 C は地下ロビー壁際部分を示し、引出線が誤記となります。</p>

246	A-202 A-321 A-206	<p>B1F 風除室 B1-2 仕上表 壁 打放補修の上 FCC で平詳図(X8/B13 通り)の壁記号室の左側が RW3、右側が RW1 です。エレメント図 壁 RW3 の注記に「仕上 ACC の場合に打放 A 種」とあります。 FCC の下地は RW1 は打放 B 種、RW3 も打放 B 種と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>風除室 B1-2 の RW 1 と記載の面は仕上として EP を見込んでください。(隣接する EPS ボードの仕上色と合わせます)</p>
247	A-202 A-206	<p>B1F いろはみち B1-1、下足置場 B1-1 床仕上 複層フローリング A エレメント図 床 6 コンパネ捨張フローリングボード張りとありますが、捨張合板 t12 共と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
248	A-206	<p>壁 W10 木毛セメント板張 エレメント図より RC 面の木毛セメント板は接着張と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
249	A-202 A-207 A-404	<p>B1F いろはみち B1-1、 地下ピラー、履き替えエア B1-1 仕上表備考にピクチャーレールとありますが、設置場所が不明です。不要と考えると宜しいでしょうか。否の場合は、ピクチャーレールの設置場所を天伏図にて御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>

250	A-326 A-303	2F 風除室 2-1(X7/A2 通り) 排水溝 SUS グレチング W150 がありますが、排水溝内の H 寸法・内部仕上が不明です。部分詳細図を御指示下さい。	A-632 図の D18 を参照ください。
251	A-204	2F いろはにひろば 2-1 仕上表備考に機械基礎とありますが寸法・場所が不明です。機械基礎は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
252	A-303	2F いろはにひろば 2-1 右側の矩計図フロアルバー W100・150 がありますが仕様・品番・メーカー名を御指示下さい。	カネソウ・フロアルバー LV-15 同等品としてください。
253	A-326 A-303	2F いろはにひろば 2-1 平詳図 A3 通りフロアルバー W100 部分に破線部：スラブ開口を示すとありますが破線部とは×印の部分と考えて宜しいでしょうか。フロアルバー・チャンバーボックス共に不要と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	破線部はお見込みの通り×印の部分となります。フロアルバーは通しで必要、チャンバーボックスは破線部のスラブ開口部分のみ必要となります。

254	A-204 A-520	2階 EVホール 天井高さ 仕上表・天井伏図:CH2800、矩計図・展開図・階段詳細 図:CH3200 食違います。 CH3200 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
255	A-204 A-318	2F ロビー-2-1 天井高さ 仕上表・天井伏図:CH2600、階段詳細図:CH3200 食違います。CH2600 と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	宜しいです。
256	A-318	階段 6 図上側「a 部詳細図」 入り巾木とありますが仕様が不明です。指示下さい。	A-207 巾木 5 としてください。
257	A-317	階段 5 巾木の仕様が不明です。 御指示下さい。	A-207 巾木 3 としてください。
258	A-202 A-322	B1 階 EVホール B1-1 仕上表備考 履き替えエリア、床見切とありますが床仕上の貼り分け は無く床見切(SUS 製)だけを見込むと考えると宜しい でしょうか。御指示下さい。	履き替えラインを境に地下ロビー側は床タイル A 仕上、下足置場側は複層フローリング A 仕上 として貼り分けてください。床見切もお見込みく ださい。

259	A-322	B1階 EVホール B1-1、廊下 B1-2 A3通り側の地下二重壁は壁記号 W17程度と考えて 宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
260	A-202 A-207	B1F 倉庫 B1-2・B1-3 仕上表 天井高が直天で天井仕上が素地ですが、天井下地が 3(仕上塗材)になっています。天井下地は 1(直天井) に読替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
261	A-203 A-207	1F 舞台倉庫 1-1 仕上表 天井高が直天で天井仕上が素地ですが、天井下地が 6(各種ボード突付け張工法)になっています。天井下 地は 1(直天井)に読替えて宜しいでしょうか。御指示 下さい。	宜しいです。
262	特-001 A-203 A-206	1F 荷捌き 室内 AS 防水の仕様 特記仕様書では A-1、エレメント図-1 では B-1、エレメント図- 2 では E-2 と食違えます。A-1 と考えて宜しいでしょ うか。御指示下さい。	宜しいです。

263	A-201 A-203	<p>1F 荷捌き 立上り仕上について、 下記の様に食い違います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部仕上表:塗膜併用工法高反射保護塗料 ・内部仕上表:床材立上(浸透性表面強化材) <p>内部仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
264	A-324	<p>1F 荷捌き(A11/X2 通り) 排水溝は不要と考えて宜しいでしょうか。 必要の場合は 排水溝の中・蓋仕様 溝の深さ・仕上の分かる詳細図を御指示下さい。</p>	宜しいです。
265	A-203 A-410	<p>1F 自販機コーナー 1-1 仕上表備考 三方枠とありますが、X2/A4 通り 建具記号がありません。X9/B3 通り 自販機コーナー 1-2 は SF-003 があります。 仕様・寸法・詳細を御指示下さい。</p>	自販機置場 1-1 は三方枠不要です。

266	A-203	<p>1F 販機コーナー 1-1・1-2 巾木に図示とありますが、展開図が無い為仕様が不明です。巾木は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>【自販機置場 1-1】 RW 部は不要、乾式壁部は廊下 1-1 に倣い木巾木 【自販機置場 1-2】 RW 部は不要、乾式壁部はソフト巾木</p>
267	A-203 A-323 S-021	<p>1F 事務室(B5/X10 通り) 床レベル 仕上表 躯体レベル-10、-100 の 2 種類ありますが平詳図は-10、構造図は-10 です。-10 が正の場合は OA フロアが納まりません。正しい床レベルと床下地を御指示下さい。</p>	<p>- 100、OA フロアを正とします。</p>
268	A-203 A-323	<p>1F 事務室(B5/X9 通り) 受付カウンター 材質・厚み・仕様が不明です。御指示下さい。</p>	<p>メラミンポストフォーム t40 として見込んでください。</p>
269	A-204	<p>1F マター置場 壁仕上 防滑性エポキシ樹脂塗装とありますが床と同じ製品を天井まで施すと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>C 打放し補修の上 FCC としてください。</p>

270	A-321 A-642	<p>B1F 駐車場車路入口 目隠しルーバー壁の範囲が食い違います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平詳図 B3 通り RC 壁 ・詳細図 B3 通り RC 壁がなくルーバーが3方 <p>平詳図を正と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。</p>	宜しいです。
271	A-203 A-405	<p>1F 小楽屋 1-1・1-2 仕上表備考 カーテンとありますが、カーテンは別途工事、カーテンレールが建特 工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
272	A-625 M-402	<p>家具詳細図 1F 小楽屋、2F 大楽屋の楽屋カウンター、洗面器・水栓金 具・排水トラップが家具工事外ですが設備図 衛生器具 表(前回入札時受領)に洗面カウンターは記載がありますが、水栓金具・排水トラップの記載がありません。水栓 金具 TOTO TLP02305JA は、建築工事と考えて宜 しいでしょうか。 御指示下さい。</p>	設備工事とお見込み下さい。

273	A-625 M-402	<p>家具詳細図</p> <p>1F 小楽屋、2F 大楽屋の楽屋カウンター、洗面器・水栓金具・排水トラップが家具工事外ですが、設備図 衛生器具表(前回入札時受領)に洗面カウンターは記載がありますが、水栓金具・排水トラップの記載がありません。排水トラップは洗面カウンターに含むものとし衛生設備工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
274	A-201 A-625 M-402	<p>1F 小楽屋、2F 大楽屋の楽屋カウンター 楽屋洗面器の品番が食い違います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕上材料表 雑(一番右の列) 楽屋洗面器 TOTO L505 同等品 ・ 家具詳細図 TOTO LS916 同等品 ・ 衛生器具表 TOTO L726 同等品 <p>衛生器具表(前回入札時受領)を正とし工事区分も設備工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>家具詳細図 TOTO LS916 同等品を正とし、設備工事とお見込み下さい。</p>

275	A-326 A-406 A-204	<p>2F 平詳図 A7-A6/X2 通り 廊下 2-1 と 2-2 の間の廊下(階段の前) 室名がありません。廊下 2-1 と 2-2 は仕上が異なるためどちらの廊下にならうのか不明です。 廊下 2-1 と同仕上と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。</p>	廊下 2-2 にならってください。
276	A-325 A-203	<p>2F 卓球場 平詳図 B1 通り側 X10-12 通り 2か所扉があり収納スペースのようなものがあります。内部の仕上は A-203 1F 多目的ルームの収納 1-1 にならって宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
277	A-403 A-204	<p>2F 卓球場 展開図 D 面 壁：石膏ボード EP+木練付板とありますが、展開図 A・B・C 面及び仕上表の指示通り有孔合板に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
278	A-205	<p>3F 会議室 1 仕上表 巾木 PVC とありますが、会議室 2・3 にならない 木巾木に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。

279	A-205 A-403	3F 会議室 2 壁 展開図に EP とありますが、仕上表を正とし有孔シ合板と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
280	A-205 A-407	3F 会議室 3・4 仕上表備考にブラインドボックスとありますが、天伏図(X1 通り)に指示がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	天伏図に記載の通り、X1 側の面にブラインドボックスを見込んでください。
281	A-427 A-412	AW-301 詳細図 P 断面は 3F 会議室 2 の腰窓の位置ですが断面詳細図は FL まで窓あり表記です。窓上枠(St-1.6t)と同じように下枠・堅枠があると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
282	A-427 A-328	AW-301 詳細図 Q 断面 A5 通りの詳細 3F 会議室 2 の壁仕上が St パンチングパネル+ガラスウール充填(建築工事)とありますが A-328 平詳図壁記号 W11 で有孔シ合板と食い違います。 W11 で有孔シ合板が正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。 会議室 2 はお見込みのとおりです。 会議室 3 側の二重サッシ内は St パンチングパネル+ガラスウール充填をみこんでください。

283	A-427 A-328	AW-301 詳細図 外観姿図 A6 通り RC 柱の右側からサッシ枠まで逆 L 字状のパネルのような表記があります。St パンチングパネル+ガラスウール充填 t25 と 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
284	A-427 A-328	AW-301 詳細図 外観姿図 A4 通り 3F 会議室 1~2 間を仕切る方立詳細図がありません。 A-207 エlement図 その他 5.塞ぎ材を適用して宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
285	A-205 A-328	3F 倉庫 3-1 壁の食い違い 仕上表 : C 打放補修の上 ACC、平詳細図 : RW2 (A-206 図より打放補修のまま)RW2 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
286	A-311 A-202	階段 1 詳細図 地下中間階 点検通路 B1-1 仕上表に室名記載がありません。階段 1 に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

287	A-205 A-311	階段 1 巾木 H 寸法について、 階段 1 詳細図では「巾木:PVC」と記載がありますが、 仕上表-4 では巾木 高さ欄が 0 と食い違えます。H60 程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
288	A-311	階段 1 段裏について、 階段 1 詳細図では「段裏:C 塗装の上 EP」と記載があ りますが、C 打放補修の上と読み替えて宜しいでし ょうか。否の場合、C 塗装の仕様を御指示下さい。	宜しいです。
289	A-205	階段 1 廻縁について、 仕上表-1 廻縁欄が空白ですが、 他階段室に倣い、PVC 程度と 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
290	A-315 A-321 A-323 A-325	階段 4-1・4-2 手摺について、 階段 4-1・4-2 詳細図では内周の図示しかありませ んが、B1～2F 平面詳細図 1 では両側に手摺の図示が あります。階段 4-1・4-2 詳細図を正と考えて宜しい でしょうか。否の場合、外周手摺の仕様を御指示下さ い。	宜しいです。

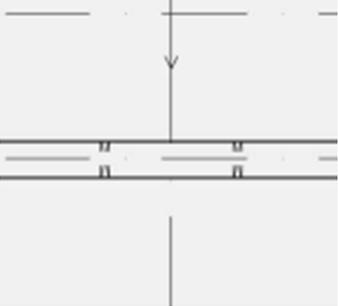
291	A-315 A-321	<p>B1F 階段 4-1 壁納まりについて、 B1F 平面詳細図 1 では周囲が LGS 納まりの様な図示ですが、階段 4-1・4-2 詳細図では、倉庫 B1-3 面が C 壁の図示と食い違えます。階段 4-1・4-2 詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 否の場合、正しい納まり図を御指示下さい。</p>	宜しいです。
292	A-205 A-315	<p>階段 4-1・4-2 壁仕上について、 仕上表-4 では「仕上 1:C 打放補修の上 ACC・仕上 2:EP」と記載がありますが、階段 4-1・4-2 詳細図では「壁:EP」の記載しかありません。 仕上表-4 を正とし、階段 4-1・4-2 詳細図に記載の RW1 を RW3 と読み替えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。</p>	宜しいです。
293	A-205 A-315	<p>上記質疑が正の場合、 階段 4-1・4-2 天井仕上について、仕上表-4・階段 4-1・4-2 詳細図では「EP」と記載がありますが、壁仕上に倣い、「C 打放補修の上 ACC」と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。

294	A-202~205・ 333~338	<p>B1~3階 HCWC 仕上表備考 トイレ補助手摺、鏡、ライングとありますが便所詳細図では、点線表示となっております。建築工事の場合はそれぞれの詳細や仕様、補強材等を御指示下さい。</p>	<p>設備工事とお見込み下さい。</p>
295	A-202・303・339	<p>B1F 授乳室 B1-1 下記のように壁仕上が食い違います。 ・仕上表・矩計図：ビニルクロス ・展開図：EP-G・化粧ケイカル板 子供用トイレ廻りのLGS面の壁を化粧ケイカル板、それ以外の壁をビニルクロスと考えて宜しいでしょうか。 その時のRW1面は打放し+ビニルクロスと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。 RW1面は打放し補修の上ACCとしてください。</p>
296	A-207・404・407	<p>B1F 授乳室 B1-1 折上天井 A-407図に折上I詳細がありますが、仕上材や見切材が不明です。見上げ・下り壁は天井同材とし見切材は塩ビ製と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>

297	A-207・ 405～407	1・2階 FWC・MWC1-1、2-1 折上天井 A-407 図に、折上 I 詳細がありますが、仕上材や見切材が不明です。見上げ・下り壁は天井同材とし見切材は塩ビ製と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
298	A-334・410	1階 FWC1-2 AW104 サッシ 膳板、額縁類の材種、厚み、部材寸法、塗装等が不明です。御指示下さい。	スチール製、t2.3、見込 180 mm、SOP 塗装として下さい。
299	A-202～205・ 333～338	B1～3階各 WC について、 平詳図、展開図等に姿見鏡がありますが下地補強材の大きさ、材種、厚み等が不明です。それぞれを御指示下さい。	鏡 t5 枠 SUS t 1.0HL 仕上 t12.5 石膏ボード 2 枚張りの上直貼り
300	A-202～204	B1・1F 男女更衣室 仕上表備考 ロッカーとありますが仕様、大きさ、数量、メーカー・品番等が不明です。それぞれの部屋ごとに御指示下さい。	ロッカーは別途工事です。

301	A-202・339 M-402	<p>B1 階授乳室 B1-1 設備図器具表(前回入札時受領)に洗面カウンター(建築工事)とありますが仕上表や便所詳細図にはありません。 あるものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	無しとして下さい。
302	A-637 M-402	<p>1、2 階 WC1-1、2-1 化粧鏡の大きさが下記の様に食い違います。 ・部分詳細図(D-133): W450 ・設備図器具表(前回入札時受領)個室 WC:W360 W450 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
303	A-202～205・ 333～338 M-402	<p>B1～3 階各 WC について、 仕上表・便所詳細図と設備器具図(前回入札時受領)で数量が食い違う部分があります。 ・①クールドライ、②L型手摺、③WC用化粧鏡、 ④パウダー用化粧鏡、⑤ベビーチェア、これらは仕上表・便所詳細図の数量を正と考えて宜しいでしょうか。 不可の場合、それぞれの数量を御指示下さい。</p>	宜しいです。

304	M-402	<p>設備器具図(前回入札時受領) 洗面カウンター用手摺の数量合計 24 か所とありますが 2 本 1 組設置のため 12 か所と考えて宜しいでし うか。 御指示下さい。</p>	宜しいです。
305	A-634 A-205	<p>ピット 湧水槽の仕上 仕上表(室名 ピット)：ケイ酸質系塗布防水 部詳図(D-102)：コンクリート金鍔押え(防水指示なし) と食い違えます。 仕上表を正とし 床：ケイ酸質系塗布防水 壁：C ママ(打放しのまま)と 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。
306	A-208・209 A-634	<p>ピット凡例：鋳鉄製マンホール ・一般部 ・駐車場部 ・汚水槽、非常用水槽用 それぞれの仕様・メーカー品番を御指示下さい。</p>	φ 600 鋳造製 防水・防臭型でお見込み下さい。

307	A-208 特-004	<p>ピット凡例：点検用ハッチ 特記 20-21-b 床点検口を適用と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
308	A-208	<p>ピット図で下記の図のような記号は 連通管のみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> 	<p>凡例の上から 12 段目が該当します。連通管 φ 125 半割および通気管 φ 100 を見込んでください。</p>
309	A-208	<p>ピット X8/A4 などに 「OF」記号がありますがオーバーフロー管と考えて宜しい でしょうか。管径が不明です。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。A-661 雨水流出抑制構造図 1 に記載 のとおり φ 250 としてください。</p>

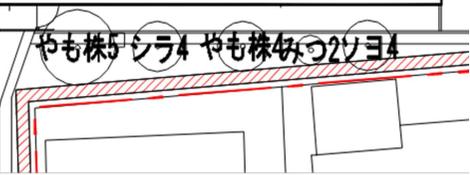
310	A-206 A-323	<p>エレメント図 W9：天然木練付板(不燃) 断面図 LGS 内にグラスウール充填の表記がありますが平詳図 1F 多目的ルームの壁表記を見ると対面側の壁記号によ ってグラスウールの有無が決まるようです。 W8 は必ずグラスウール充填が必要ですが、W9 は不要と 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。ただし、W9 のうち平詳図の壁符号 が□で囲われ GW の記載 (遮音を意図したもの) がある部分は充填するものとします。</p>
311	A-205 A-311	<p>階段 1 床仕上について、 下記のように食い違います。 ・仕上表-4:タイルカーペット A ・階段 1:ビニル床シート A 仕上表-4 を正と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
312	特-004 A-638(D-144)	<p>ビクチャレールのメーカー品番について、 下記のように食い違います。 部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 ・特記仕様書 荒川技研工業:MC-11 同等品 ・部分詳細図 岡田:14L32-SV-YPS 同等品 御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>

313	特-003(16-11-c)	鍵箱について、組数及び参考メーカー品番を御指示下さい。	組数は建具表より適宜見込んでください。 美和ロック同等とお考えください。
		【建具】	
314		建具枠廻りシーリングについて、 すべて、20×10 ダブルと考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	宜しいです。
315	A-414・415	SD-125 について、 A-414・415 で SD-125 が重複しています。 A-415 の SD-125 は不要と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	宜しいです。
316	A-414～418	建具表備考欄の飛散防止フィルムについて、 A 又は B の凡例記号が付いてません。記号を御指示 下さい。	全て A として見込んでください。
317	A-412	3F 建具キープランについて、 X2, YA6 通りに SD-305・306 の図示がありますが、建 具表に詳細がありません。詳細を御指示下さい。	印刷範囲に誤りがありました。修正図を参照くだ さい。

318	A-416	SSD-103・104・B03・B04 の袖ガラスについて、 建具表で「L16」の指示ですが、ガラスの構成が不明で す。ガラスの種類・厚み等ガラス構成を御指示下さい。	透明フロートガラス 8+8 の合わせガラスとして ください。
319	A-414～418・616	建具表備考欄に指示がある衝突防止マークは、 サイン詳細図 2 の衝突防止サイン 130m に含まれると考 えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
320	A-417	WW-101・301・B02 について、 姿図番号に図示と記載がありますが、姿図に図示も 無く詳細図もありません。詳細を御指示下さい。	WW-101 : A-434 図を参照ください。 WW-B02 : A-435 図左下に記載のベンチ付きの 詳細図を参照ください。 WW-301 : A-435 図に記載の WW-B01 と同仕様 とし、窓は均等 6 分割として見込んでください。
321	A-409～411	B1F～2F 建具キープランに WF-B01・101・001 の内い ずれかの図示がありますが、建具表に詳細がありませ ん。仕様・寸法等詳細を御指示下さい。	A-637 部分詳細図ユニットシャワーを参照下さ い。
322	A-416	木製建具の金物について、下記を御指示下さい。 ①必要な金物の種類は建具表の錠・建具金物欄に記 載の物のみで宜しいでしょうか。否の場合、必要な金 物の種類・扉 1 枚当りに必要な個数を御指示下さい。 ②金物のメーカー品番を御指示下さい。	特記金物は記載の物のみで宜しいです。 建具特記仕様書のとおり、標準建具金物(付属金 物)は、一式取付としてください。

323	A-416	WD-303・304・B03 について、 建具金物が不明です。御指示下さい。	堀込引手を見込んでください。
324	特-003	外部建具性能が不明です。 種類別に建具性能を御指示下さい。	S-5、A-4、W-5 以上としてください。
325	A-414～418	建具表備考欄の RW 充填について、 扉・枠内に充填と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	宜しいです。
326	A-414	LSD-103 について、 建具表の「防火・防煙」に「防・煙」の記載がありますが、キープラン・法規制は一般建具です。「防・煙」は誤記と 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	LSD-103 について、「防・煙」の記載はありません。一般建具としてください。
327	A-408	内部がりの開口率が不明です。御指示下さい。	ご質問の意図が不明です。 SG は建具表に記載のとおり開口率 70%、AG は 開口率 33%として見込んでください。
328	A-416	木製建具の仕上について、 OSCL 塗装の為、建具本体に共計上と考えて宜しい でしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

329	A-433	<p>GCW の建具性能について、 GCW-102・103・201 の建具性能が不明です。 GCW-101 に倣い、下記性能と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>耐風圧性：+1481N/m²,-1060N/m² 気密性：A-4 水密性：W-5</p>	宜しいです。
330	A-414～418	<p>網戸・防虫網について、 建具表 網戸の欄はすべて空欄です。 本物件において、網戸・防虫網は不要と考えて宜しいでしょうか。否の場合、建具記号別に種類と必要の有無を御指示下さい。</p>	宜しいです。
331	A-433	<p>GCW-101 について GCW のメーカーにヒアリングしたところ、X6～7 間以外は製作不可との回答をいただきました。そのため、X4～6 間についてはアルミ製建具に読み替えてよろしいでしょうか。御指示下さい。</p>	宜しいです。

332	A-427-2	<p>自然換気システム詳細図において、二次側の配管、配線工事(センサー含む)の工事区分が、</p> <p>[2] 工事区分：電気設備工事</p> <p>[5] 配線系統図：建築工事(サッシ工事)</p> <p>と相違しています。</p> <p>[5] 配線系統図：建築工事(サッシ工事)</p> <p>を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
		<p>【外構】</p>	
333	A-718	<p>境界ウォール面フッ素樹脂塗装仕上げのメーカー・品番を御指示下さい。</p>	<p>エスケー化研(株)製「弾性スーパーセラタイト F(3分艶、粒無し)」同等品</p>
334	A-710	<p>ルーツストップのH寸法、メーカー・品番を御指示下さい。</p>	<p>東邦レオ(株)製「ルーツストップ」同等品以上 H:1000</p>
335	A-710	<p>植栽計画平面図に「シラ4」がありますが、高木植栽凡例にありません。形状寸法・支柱・客土・備考など凡例を御指示下さい。</p> 	<p>シラカシ H4.0/C0.30/W2.0 木製三脚鳥居支柱 客土-1 備考無し</p>

336	特-005	外構工事の埋戻しに用いる材料について、2 屋外雨水排水によると B 種となっておりますが、外構工作物など含めて全て B 種と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
337	特-005	20 章エットその他 41.敷地境界石標について、設置か所数を御指示下さい。	24 ヶ所とします。
		【電気】	
338	A-321	X14-B4 付近に EV 用急速充電機の記載がございますが、別途工事と記載いただいております。 様式 8-1-2 にて、 II 電気工事-A 本棟-3 電気自動車用充電設備の内訳項目がございますが、本設備項目の内容をご教示お願いいたします。	急速充電器機器自体は別工事と計画しています。但し給電元を建物キュービクルからと想定し空管路構築を建物工事としています。 露出空配管 G82、EPS からキュービクルまでは記載のケーブルラックと考えています。
339	A-642	API (事前精算機)の場所ですが、E-147 の X9-A5 付近の「駐車料金システム用」のコンセントの位置でよろしいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

340	E-121 および E-151	<p>排気スウィンドウ制御ユニットが 2L-3 の□9,10 と平面図に記載がございますが、電灯盤表には記載がありません。</p> <p>A427-2 にて合計 1.1kVA とのことですので、新規で 550VA を 2 回路で見込んでよろしいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>電源配線は A427 図の系統図を正とします。よって事務室自然換気制御盤から 2 系統送出します。2L-3 は記載誤りです。</p> <p>自然換気盤への電源供給元は 1 L - 4 の G19 回路とし容量は 1.1KVA です。</p>
341	E-147 および E-164	<p>道場 1 および道場 2 のカトリレーコンセントですが、両室において、コンセント図(E-147)では 2 個、拡声図では 1 個と相違がございます。</p> <p>拡声図に合わせ、1 部屋に 1 個で見込んでよろしいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>コンセント平面図を正とします。</p> <p>カトリレーコンセントは道場 1 に 1 個、道場 2 に 1 個、合計 2 個とします。</p>
342	E-118 および E-147	<p>平面図(E-147)に記載の□29,30 のカトリレー回路ですが、分電盤 B1L-1 にて回路の記載がありません。カトリレー 1 台につき 800VA にて、新規で 2 回路見込んでよろしいでしょうか。</p> <p>(容量は E-163 拡声設備 機器姿図 (3)より) 御指示下さい。</p>	<p>お見込みの通り、B1L-1 に見込んでください。</p>

343	E-118 および E-147	<p>平面図(E-147)に記載の風除室 B1-2 の自動ドアの□31 回路ですが、分電盤 B1L-1 にて回路の記載がございません。</p> <p>他の自動ドア電源と同様に 1200VA にて、新規で 1 回路を見込んでよろしいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>お見込みの通り、分電盤 B1L-1 に 1200VA として見込んでください。</p>
344	E-101	<p>受変電設備仕様 注)1 にて、</p> <p>「使用する変圧器は油入型、第 2 次判断基準トッランナーとする」とございますが、現在発注が終了しており、第 3 次判断基準トッランナーの採用となります。上記の仕様で問題ないでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>変圧器は第 3 次トッランナー基準仕様と読み替えをお願いします。</p>
345	A-444～446 および E-151	<p>AW-R03 の電源ですが、平面図では 3L-1 □G1 と記載ございますが、分電盤に記載がございません。</p> <p>4 か所ある電動駆動装置の容量は 1 回路で納まる容量と想定し、新規で GC 回路を有する 1L-5 に 1 回路見込んでよろしいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>3L-1 から供給します。 A-446 図の AW-R03 開閉用スイッチへ 100V1000VA を供給します。</p> <p>3L-1 には G 系統主幹 50/20A×1 を追加します。</p> <p>分岐 50/20A を 4 回路設け、AW-R03 に G1 回路として供給します。</p> <p>保安電源盤に GL109 50/20A×1 1.0KVA EM-CET14(E31)を追加します。</p>

346	A-516 および E-148	<p>HA モーター用のアウトレットボックスおよび配線が電気図に記載ございません。</p> <p>A-516 より、X8-B10 に 100V 20A 回路×2、X14-B10 に 100V 20A 回路×2 を、1L-6 に見込む方針でよろしいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>アリーナ防球ネット電源は分電盤 1L-6 □7 及び □8 各容量 1000VA 分岐遮断器 2P50/20×2 接続配線 EM-IE-2.0x2 E2.0 (保護管 E19 アリーナ内部露出部は指定色塗装【黒】) を追加して供給します。A-516 図記載の”a”コンセントは電気工事に含まず、”b”防球ネット投光器は電気工事ではなく建築工事に変更します。</p>
347	A-671 および E-148 ~ 150	<p>A-671 に記載の各電動製品の電源について、E-148~150 の平面図に記載はございますが、各盤に回路が見込まれておりません。平面図に行先として記載されている分電盤に、新規で回路を見込んでよろしいでしょうか。ただし、3階アリーナ上部の電動ブラインドについては、平面図にて GC 回路とされているので、1L-4 に追加で見込むと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>お見込みの通り、行先の分電盤に回路を必要数分追加してください。</p> <p>アリーナ電動ブラインドの供給電源は G 回路とし、2L-3 ではなく 1L-6 から供給します。</p> <p>保安電源盤に GL110 50/50A×1 9.0KVA EM-CET60(E51)を追加し、1L-6 に供給します。</p> <p>なお、1L-6 のアリーナ天井照明◎3-◎7 も G 回路へ変更します。</p>
348	A-727 および E-118 ~ 122	<p>A-727 に記載の灌水コントローラの電源が見込まれておりません。</p> <p>1階北西部の1個を1L-3で1回路新設、2階東部の2個を1L-6で1回路新設、3階の1個は3L-弓道で1回路新設して電源供給する認識でよろしいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>お見込みの通りに追加をお願いします。</p> <p>1階北西部は1L-3で1回路新設、 1階東部は1L-6で1回路新設、 3階は3L-弓道で1回路新設 で宜しいです。</p>

349	M-251 および E-128	床冷暖房制御盤の電源が見込まれておりません。 2P-1 にて 1.5kW を新規回路で見込んでよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りで宜しいです。 床暖房制御盤電源は動力制御盤 2P-1 から供給とします。
350	E-101	電力引込ケーブルが「6kV EM-CET38」と記載ございますが、水トリ対策としてエコケーブルの EE ケーブルを採用させて頂きたいのですが、よろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通り、水トリ対策(E-E)型と読み替えてください。
351	E-001 および E-101 および E-104	発電機の仕様について、図面間で下記の差異がございます。 容量：300kVA(E-101)と 500kVA(E-104) 騒音値：85db(E-001)と 75db(E-104) E-104 図に記載の仕様で考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通り、E-104 図の仕様を正とします。 容量 500KVA (450KVA 以上) 騒音 75dB
352	E-001 および E-101	キュービクルの仕様について、本件は非常用発電機を有しておりますが、特記仕様書に「消防認定品」の記載がございます。 「消防認定品」が必要かご教示お願いいたします。	確認申請は消防認定品で認可されているため、質疑回答としては、消防認定品とします。 今後の ECI 見直しの中で再検討します。

353	E-123～130	ケーブルラックの屋外仕様について記載がございませんでした。溶融亜鉛で見込んでもよろしいでしょうか。御指示下さい。	溶融亜鉛メッキ鋼板製(Z35)として見込んでください。
354	E-123～130	屋外ケーブルラックの関連部材として下記を見込ませて頂いてよろしいでしょうか。御指示下さい。 ・上部：カバー(歩行可能 ノンスリップタイプ) ・下部：ネトロンアミ	お見込みの通り、 ・上部：カバー(歩行可能 ノンスリップタイプ) ・下部：ネトロンアミ としてください。
355	E-133	地下1階倉庫 B1-1にある照明器具の種類が不明です。 「H20×1台」で見込みますがよろしいですか。御指示下さい。	お見込みの通り、H20×1台として下さい。
356	E-134	1階リハール室の照明器具の種類が不明です。 どの器具を何台見込めばよいか、ご教示願います。御指示下さい。	天井ダウンライト：パナソニック NNY85933+NNY91300B+NTS90355LJ9 16台 消費電力@28w 計 448W 信号変換 I/F NQL10121 1台 NNY85923+NNY91300B+NTS90355LJ9 4台 消費電力@28w 計 112W 信号変換 I/F NQL10121 1台 壁コーニス照明：パナソニック NNQ35941LD9 32台 消費電力 28.8W 計 922W 信号変換 I/F NQL10151 2台 調光スイッチ(壁) NQ28861K 1台 全て分電盤 1L-リハから供給

357	E-134	1階西側外壁の照明器具「EX-SL01」が姿図にありません。「EX-BR01」でしょうか。型番、仕様をご教示願います。	設計時点の型番です DNライティング FXA-T9-1003 L27 WP(S) 電源ユニット ELD2-24240FD が付属します。 現行品との読み替えをお願いします。
358	E-134	1階旗上げに記載の「前室 IN-DL03×3」の場所が不明です。見込まないでよろしいでしょうか。御指示下さい。	室名を前室1-3と読み替えてください。 平面図の記号が1つですが横並びで3台配置と変更します。
359	E-134	1階「いろはみち1-1」の旗上げの上部が途切れております。 照明器具は記載のある「IN-LL04c」、「IN-LL03a」、「IN-LL03c」、「IN-AJ05」、の4種類で見込みますがよろしいでしょうか。御指示下さい。	いろはみち1-1の灯具は IN-SP05 ×14台/IN-LL04a ×35台 IN-LL04e ×2台 ここまで見切れてます 以下 IN-LL04c ×1台/IN-LL03a ×14台 IN-LL03c ×1台/IN-AJ05 ×72台
360	E-134/E-136	1階舞台袖及び、3階フォロースポットの照明器具「P20」が姿図にありません。姿図の「P」で見込みますがよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りで宜しいです。 設計時の品番です。 E-143図 器具記号P パナソニック NTN88088B+LLD2020V
361	E-135	2階ランニングコースの照明器具の種類が不明です。 どの器具を何台見込めばよいか、ご教示願います。	IN-DL02 です、台数は72台です。

362	E-135	2階「いろはみち 2-1」の照明器具の種類及び台数が不明です。どの器具を何台見込めばよいか、ご教示願います。	IN-SP03 ×4台 リモコン 1回路 IN-WW02 ×3台/IN-WW03 ×30台 リモコン 2回路 ここまで 3階に記載 IN-DL03 ×9台 リモコン 1回路 です。
363	E-135	2階「階段 2」の照明器具の種類及び台数が不明です。どの器具を何台見込めばよろしいですか。ご教示願います。	階段 2 の照明はいろはみち 2-1 が兼ねています。3階平面記載の IN-WW03 3台と IN-WW02 2台となります。
364	E-135/E-136	2階 階段 5 及び 3階 階段 5 の照明器具「IN-FT01」が姿図にありません。型番、仕様をご教示願います。	設計時の品番です。ヤマギワ照明 FLOS シリーズ 708MYWAY/11/WHI +取付 BOX 708MYWAY/11/BOX
365	E-136	3階 B15 通りの旗上げの上部が途切れております。「IN-WW02×3」、「IN-WW03×30」、「IN-SP03×4」で見込みますがよろしいでしょうか。御指示下さい。	質疑 362 番と同じく、いろはみち 2-1 の照明を表します。
366	E-136	3階客席上部「IN-AJ03×18」の記載がありますが、プロットの台数と相違があります。プロットの台数を正とし 45 台見込みますがよろしいでしょうか。また、器具姿図にて「IN-AJ03」が×になっております。型番、仕様をご教示願います。	プロットの記載数を間違えています。 横 6 台 3 列が正しいプロットとなります。 よって IN-AJ03 は器具表通り 18 台が正しい。 器具姿図の IN-AJ03 のバツ印は間違いです。 器具品番、形状は図面通りとなります。
367	E-136	3階射場、師範席の照明器具「A35C」が姿図にありません。「A45C」に読み替えますがよろしいでしょうか。御指示下さい。	A40C に読み替えてください。

368	E-136	3階階段7に照明器具のプロットがありませんが、記載の通り「IN-SP02」を4台見込みますがよろしいでしょうか。御指示下さい。	いろはみち3-1器具表のIN-SP02 8台のうち階段7付近の4台を階段用照明と見なしています。
369	E-170	破線表は既設流用とありますが、どの建物から流用されるのか不明です。また、既設流用される機器は全て支給品と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	会議室のAV機器は、市民会館仮設会議室で使用しているものを移設し、再使用します。支給品と考えて宜しいです。
370	E-170	ワイヤレスアンテナについて、姿図に記載ございますが、破線表記ですので「既設流用」と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	破線表記のワイヤレスアンテナは既設流用となります。
371	E-170	既設AMPラック、既設ワゴンは既設流用とし、取付工事費及び試験調整費を本工事で見込む認識でよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通り、破線表記の機器は既設流用となります。取付工事費／試験調整費を計上願います。
372	E-123～130 E-153	幹線設備および弱電設備図において、ケーブルラックのサイズの記載がございません。 幹線ラックについては添付PDFのラック数で、弱電ラックについては一括W=600 1段で見込んでよろしいでしょうか。御指示下さい。  幹線ケーブルラック 見積想定仕様.pdf	宜しいです。 通信用ケーブルラックはZM-400Aとして算定ください。

373	E-120/E-134	<p>電灯分電盤表 1L-7 にリモコン回路の記載がありますが、平面図の舞台、客席等にリモコンスイッチがございません。リモコンスイッチ 10L を 1 個、想定で見込みますがよろしいでしょうか。また、設置場所をご教示ください。</p>	<p>舞台上手下手の舞台外への出入口脇と下手袖 (A7 通り) にそれぞれリモコン SW4L を見込んでください。客席には不要です。</p>
374	E-001/E-180	<p>監視カメラ設備において、E-001 特記仕様書では配管、配線、機器が本工事、E-180 の注記では機器と配線は別途工事と記載されています。機器と配線は別途工事によろしいですか。</p> <p>また、機器とは「ITV 架を除く機器(NW カメラ、HUB)」の認識でよろしいでしょうか。</p> <p>↑ 志木市数量表の拾い方より</p>	<p>宜しいです。</p>
375	E-192	<p>自動火災報知設備の特記 13 に、「★付の感知器は指定色塗装とする」とあります。★付の感知器は指定色塗装を見込み、他設備の機器は記載がないので見込みませんがよろしいですか。御指示下さい。</p>	<p>スノコを含む舞台と客席の上部、及び観客席を含むアリーナ天井面の感知器を対象とします。</p>

376	E-100/E-123	電灯分電盤「外 L-1」が電灯分電盤表にございませ ん。盤は本工事としますがよろしいでしょうか。 また、盤の内容のわかる資料があるましたら頂けま すでしょうか。御指示下さい。	本工事とします。 主幹 MCB3P225/150 分岐 ELB50/20 ×20 リモコンリレー16個 収容 鋼板製屋外防雨型 指定色塗装 配線は EMCET60 として算定して ください。
377	E-117、E-129	動力制御盤結線図 (1) 動力制御盤「3P-3」が平面、 系統図、幹線、二次側負荷ともにございませ ん。動力制御盤「3P-3」は不要としますがよろしいです か。御指示下さい。	3P-3 は 3 階 EPS3-1 に配置します。負荷内容と 幹線サイズは E-117 通り、但し FE-3-2 は 2.2KW に変更します。 E-129 図の FE-3-1 及び FE-3-3 の電圧表記 1φ 100V は間違いで 3φ 200V が正しいです。
378	E-123/E-127	「臨時発電機接続盤」は本工事としますがよろしい ですか。その場合、盤の詳細、幹線サイズをご教示 願います。	本工事です。宜しいです。 鋼板製屋外防水型自立式 3 相 400A 端子台収容 配線サイズは EM-CET250E22 保護管 G92 とします。
379	E-102/E-103 /E-123	配電盤表と系統図の幹線リスト表で幹線番号及び幹 線サイズに相違があります。配電盤表を正としま すがよろしいでしょうか。御指示下さい。	修正版を提示します。

380	E-152/E-153 /E-158	<p>E-152 と E-153 の端子盤リスト、および E-158 の平面図で弱電端子盤の有無/内容に相違があります。</p> <p>E-153 の端子盤リストを正としますがよろしいですか。(E-154 のテレビ系統図内容と整合)</p> <p>また、平面図に記載の 3T-2 が E-153 にないため、3T-1 に接続すると認識してよろしいでしょうか。</p> <p>御指示下さい。</p>	<p>E-353 図内容を正とします。</p> <p>3T-2 は記載誤りです、3T-1 に接続としてください。</p>
381	E-139～E-142	<p>階段避難誘導灯(Kc)について、凡例に記載がございましたが、平面図上にプロットがございません。</p> <p>各 屋内階段において、1フロアにつき 2 台の見込み方で計上してよろしいでしょうか。</p> <p>設置個所の指定がございましたら、ご教示お願いいたします。</p>	<p>設計平面図の通り、階段に Kc は設置していません。階段は非常照明により避難照度を確保し階段誘導灯は設けません。</p> <p>志木消防署予防課と協議済みです。</p>
382	E154 /E-156～E-157	<p>1F の救護室は呼出ボタンが 1 台のみですが、他の HCWC 同様に上部と下部の 2 台設置とせずよろしいでしょうか。</p>	<p>救護室の呼出しボタンは 1 個で宜しいです。(備品の休息ベッド等から呼出しを目的としています)</p>

383	E154 /E-156~E-157	2FのHCWC 2-2について、系統図に記載ございませんが、平面図には機器の記載がございます。用途として必要と考え、機器を見込んでよろしいでしょうか	系統図の記載漏れです。 平面図通り機器と配線の算定をお願いします。
384	E-100/ E-105/ E-127~E-129 A-632	発電機設備の配管経路について、 E-105では地下タンク⇄PS(油)⇄ハト小屋⇄発電機と記載いただいております。 一方、E-100ではリハーサル室脇にて立上げと記載があり、E-127~E-129ではE-105の記載内容に該当するPS(油)やハト小屋が記載されておられません。 また、A-632では配管用にトレンチがあることとなっておりますが、その仕様も不明です。図示願います。	E-105の通りで見積ください。
385	E-100/E-102	幹線L111「外L-1」のサイズがE-100配線表と、E-102配電盤表で相違がございます。 配電盤表を正としEM-CET60で見込みますがよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。 盤仕様と内容は質疑376を参照ください。

386	E-209～E-211	舞台照明設備において、弱電線が通るケーブルラックは、すべてセパレータ付きで見込みますがよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通り、セパレータ付で算定ください。
387	E-100	X5 通りにイベント電源がありますが、どこから電源供給されているのか不明です。図示願います。	外 L-1 から地中埋設で西側外構を經由し EM-CE8-3C(FEP40)を敷設します。
388	共-003	工事区分表において、01)共通事項の 04.05 各種引込負担金が「無し、有り（本工事）」の両方に※印があります。無しと考えさせていただきます。	引込工事は本工事、負担金支払いは発注者とお考えください。
389	共-003	工事区分表において、01)共通事項の 09. 「本設後、引渡しまでの電力、上下水道、ガス基本料金」が※電気となっております。※工事別と考え、本工事と考えてよろしいでしょうか。御指示ください。	宜しいです。
390	共-003	工事区分表において、01)共通事項の 10. 「本設後、引渡しまでの電力、上下水道、ガス使用料金」が※工事別協議となっております。この「協議」とは具体的にどのような内容を指すのでしょうか。また、8 節：工事区分 d.の 1)「工事別」として解釈してよろしいでしょうか。御指示ください。	分離発注時における建築工事、電気設備工事、機械設備工事間での協議を意図します。工事別と考え、本工事で見込んでください。

		【空調】	
391	M-001, -002, -005	<p>配管材料、弁類材料、ダクト材料において、特記仕様書と凡例に食い違いが見受けられます。凡例を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷温水管：50A 以上：高性能ポリエチレン管、40A 以下：SGP-白 ・ドレン管：V P ・補給水管：SUS ・冷媒管：冷媒用被覆銅管（10t、20t） 	宜しいです。
392	同上	<p>同上、また配管材に対する弁類の材質が不適當に思われます。以下と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷温水管：GV10k ・補給水管：SUS10k 	宜しいです。
393	同上	<p>同上、弁耐圧は 10k として宜しいでしょうか。</p>	宜しいです。
394	同上	<p>凡例にて「主管とその他」で材種が区別されていますが、図面上でどの部分が主管と考えるのかを判断するのが困難です。明確なご指示はいただけますでしょうか。</p>	<p>凡例の通り各階機械室横引き配管は SGP-白とし、それ以外は高性能ポリエチレン管として下さい。</p>

395	M-002	特記仕様書内の第3節 計器その他・瞬間流量計において固定形、着脱形の両方に採用印がありますが固定式と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
396	A-202～、M-002	ルーバー天井範囲及びエキスパンドメタル仕上げの範囲の天井内は、設備的には露出扱いと考えて宜しいでしょうか。保温仕上げ材などに影響が有りますのでご指示ください。	露出扱いとし、塗装を見込んでください。
397	共-006、M-010	音響の特記仕様書において防振支持を施す範囲が不明確ですが、「遮音区画ライン」の内側のみと考えて宜しいでしょうか。または指示がある際にはご指示ください。	宜しいです。
398	同上	同上、遮音シートを施す範囲も不明確ですが、「遮音区画ライン」の内側のみと考えて宜しいでしょうか。または指示がある際にはご指示ください。	宜しいです。
399	M-010、125、127	同上、M-125 図に「NC25 以下となるまで遮音シート巻き」とありますが、具体的な範囲が不明確です。舞台上部のダクト末端までの全域と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。

400	M-003、M-102	<p>高圧ダクトを採用する範囲は以下と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調機系統（AHU-1.2.3）機械室内 ・外調機系統（OHU-1）機械室内 <p>その他該当箇所があれば図示にてご指示ください。</p>	宜しいです。
401	M-312	<p>自動制御図【雨水貯留槽・雑用水槽制御】にて雨水流入弁が衛生工事となっていますが、衛生図面には記載がありません。150A×3ヶ所と考えて宜しいでしょうか。</p>	A-208 より 250φ×3ヶ所として下さい。
402	M-003、M-121	<p>ダクト1階詳細図-2「A-2通り」付近にピット内ダクトがありますが、ダクト材はSUSダクトと考えて宜しいでしょうか。</p>	保温不要のダクトについてはSUSダクトとして下さい。
403	M-105、106	<p>送風機（床置シロッコファン）の機器表において、給気ファンはスプリング防振架台付とありますが、排気ファンは同室、同機種にも係わらずゴム防振架台とありますが、排気側にはスプリング防振架台は不要という設計趣旨でしょうか。</p> <p>例として2階熱源・空調機械室設置のFS-2-2とFE-2-2は床置型シロッコファン#5、29,620CMH11.0kwと条件は一緒に見受けられます。</p>	FE-B1-3及びFE-2-2についてはスプリング防振架台として下さい。

404	M-122	<p>1階詳細図-1 多目的ホールと給湯パントリー（X10-B3 通り）について「DG ドアガラリ」（150CMH 分のパス用）が見受けられますが、扉には水色線により「遮音区画ライン」があります。遮音効果のある DG を設置の考えでしょうか。または天井扇 FE-1-7(150CMH)排気用に遮音効果のあるパスダクト設備を施す必要はございませんか。必要な際には図示にてご指示ください。</p>	<p>ロビー1-1 側にドアガラリを変更して下さい。 FE-1-7 は遮音区画外であるため遮音性能は不要として下さい。</p>
405	M-110、112、122、125、A-531、532	<p>床吹出口全般について設備本工事になるのは M-122 図アリーナ部分 AHU-3 系統の 1500L40 個のみと考えて宜しいでしょうか。その他のいろはみちやいろはひろば及びホール道場等の床吹出口は建築図と各所要領図により建築工事と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>
		<p>【衛生】</p>	
406	M-005	<p>凡例において、給水管（上水・雑用水） 管材 屋内主管_50A 以上と、屋内枝管_50A 以下で管材を分けていますが、どこまでが主管とするか判断ができません。図面に色分けなどの方法にてご指示ください。</p>	<p>50A は全て SUS として下さい。</p>

407	M-002、M-416	<p>特記に「建物導入部の変位吸収配管はフレキシブルジョイントを使用した方法で施工する。設置箇所は図示による。」と記載がありますが、図 M-416 の導入部に記載がありません。FJ×2 とボックスは必要でしょうか。</p>	<p>不要とします。</p>
408	同上	<p>同上、排水管には記載がありませんが、屋内排水管～第一桝の間に沈下対策フレキを設置する事と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>不要とします。</p>
409	M-002	<p>雑用給水管 (VLP-VB) の系統において、これに接続されるバルブがステンレス製となされています。異種金属接触による腐食の懸念に対し、ステンレス製バルブと樹脂製管の間に絶縁継手を拾うと判断しますか。または弁材質をコア・コート弁に変更しますか。ご指示ください。</p>	<p>コア・コート弁として下さい。</p>
410	共-003	<p>工事区分表において、01)共通事項の 06.07.08 各種引込負担金が「無し、有り (本工事)」の両方に※印があります。無しと考えて宜しいでしょうか。有りの場合には水道局との協議結果の金額をご指示ください。</p>	<p>上下水道の引き込みは、本工事です。負担金は、発注者負担です。</p>

411	共-003、A-901	<p>工事区分表 11.既存上下水道ガス管の撤去手続きが衛生工事とありますが、撤去が必要な箇所を図示にてご指示ください。現状は A-901 図にも記載が無いため、見積困難です。また、既存水道引き込み管は撤去しないと新規引込管の開栓が出来ないので別途にて既存調査および工事費の算出が必要になるものと思われます。A-901 図以外で撤去が必要なものがあれば、図示にてご指示ください。</p>	<p>上水・ガス：今回の積算の対象外とし、本業務の中で協議します。 下水：既存放流管残置</p>
412	M-404、A-727	<p>建築図（後半）A-727 図に灌水設備用の 1 次側給水管および渡り配管は衛生工事とありますが、赤色着色の 1 次側給水管までの給水管が図示ございません。衛生本体工事の給水管のどの位置から分岐すれば良いかを図示にてご指示ください。</p>	<p>M-415・416 に追記いたします。</p>
413	M-414	<p>地下 1 階清掃員控室にシンクが見受けられますが各種配管が図示有りません。設置無しと考えますか。または設置する場合には図示によりご指示ください。</p>	<p>M-414・422 に追記いたします。</p>

414	M-404	<p>外構図の切替え柵⑦番に対し⑥番からの排水管以外に建屋からの排水管が図示有りますが、建屋内に排水管が見受けられません。どの部分からの排水管かを図示にてご指示ください。</p>	<p>M-404・405に追記いたします。</p>
415	M-404	<p>外構図の雨水柵⑳番に対して2方向に雨水本管接続がありますが、⑳→㉑番以降の排水管は排水柵リストの最終柵（既存）は㉑番の2個下900φ2200hと考え配管の埋設深さを計算して宜しいでしょうか。またもう一方の排水管（X15通り）は㉑番の1個下700φ2100hと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>
416	M-404、共-003-11:	<p>排水柵リスト下部に「※本工事において利用しない最終柵（既設）は全て撤去する・・・」と図示有りますが、外構図に図示有りません。不要でしょうか。または下水道局にて確認後、現地調査にて積算するという意味でしょうか。後者の場合、入札における不確定要素となり各社の積算根拠に差異が発生するため基本設計としての条件を設定してください。</p>	<p>撤去不要です。</p>

417	共-003	工事区分表において、06：本設上水引込、引込負担金に「無し、有り」共に※印がありますが工事区分をご指示ください。また本工事「有り」の際には、既存の上水引込管の契約サイズを教えてください。差額が発生することもあります。	上下水道の引き込みは、本工事です。負担金は、発注者負担です。
418	同上	同上、下水引込についてもご指示ください。また、既存敷地の契約が不明なため、雨水についても受益者負担金が発生するか不要かをご指示ください。	上下水道の引き込みは、本工事です。負担金は、発注者負担です。
419	M-403、404	水道引込管の現状の敷設サイズについて、既存は図面より 100A と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
420	同上	同上、今回の必要口径は系統図の量水器により 75A と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
421	同上	同上、既存引込管 100A に対し、今回 75A に減径するという事でしょうか。	お見込みの通りです。

422	同上	<p>同上、その際に水道利用加入金は差額が発生するという考えでしょうか。既存の加入金の契約状況がわからないため加入金に対する水道局との打ち合わせ議事録などを公開していただけないでしょうか。</p>	<p>水道加入金を新たに支払う必要はないが、申請手数料を支払う必要があります。サイズダウンの場合の水道加入金に関しては既存 75A と新設メーターの差額の返金はないです。</p>
423	M-501	<p>地下駐車場に泡消火設備が図示有りますが、環境影響薬剤 (PFOS) を含まない消火薬剤を持つメーカー数が少ないこともあり施工障害や価格高騰が予測され現状は施工不可となっています。代替消火設備案のご用意はございますか。</p>	<p>各専門業者は新しい消火薬剤での対応を進めており、泡消火設備のままで問題は無いと考えます。</p>
424	M-401、402	<p>機器表の電気温水器 (WHE-1.2) について、衛生器具表の電気温水器 (12L-REKB12A12) と重複しており、尚且つ機種が異なります。機器表を優先して宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>
425	M-402、422、424	<p>詳細図では各所トイレおよび更衣室の洗面カウンターには電気温水器が取り付くように書かれていますが、該当する衛生器具表では単水栓 (水のみ) とあります。詳細図を優先しお湯も使えるように考えて宜しいでしょうか。その際に機種選定は下段にある「楽屋用」と同じと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>

426	M-402、404	衛生器具表の1F屋外、3F.RF屋上緑化に散水栓（カップリング付）がありますが外構図および詳細図に給水配管が図示有りません。散水栓は必要でしょうか。必要な際には図示にてご指示ください。	M-419・424に追記いたします。
427	共-003、M-312、M-401	排水水中ポンプ用制御盤について、共通工事区分表07)各種水槽内03.05では制御盤が設備本工事とあり、自動制御図排水ポンプ廻り制御フロー図でも排水ポンプ用制御盤はポンプ付属品とありますが、衛生機器表内では水中ポンプの制御盤が付属とは明記ございません。制御盤を付属と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
428	M-312、M-305、M-425、M-426	自動制御-計装図-7の「計測・計量」において「給水量計量」がありますが、雨水ろ過機の量水器に取り付けるのでしょうか。またその際に中央監視点一覧(2)にポイントが見受けられませんが、中央に取り込む計装工事は自動制御側の工事でしょうか。ご指示ください。	雨水ろ過機の量水器に取り付けます。中央に取り込む制御は自動制御工事として下さい。
		【解体】	

429	A-901	<p>敷地北東部は現在市営駐車場になっておりますが、植栽、照明柱、ゲートバーなどがあり図面に記載がありません。</p> <p>見積への反映要否をご教示ください。反映が必要な場合は、面積や数量等をご指示ください。</p>	<p>既存市民会館駐車場及び既存仮囲いは、今回の積算の対象外とし、本業務の中で協議します。</p>
430	A-901	<p>計画敷地に仮囲いが残置されておりますが、図面に指示がありません。</p> <p>見積への反映要否をご教示ください。反映が必要な場合は、面積や数量等をご指示ください。</p>	<p>既存市民会館駐車場及び既存仮囲いは、今回の積算の対象外とし、本業務の中で協議します。</p>
		以上	

- 1 本質疑書は、事務局宛にメール送付にて提出すること。
- 2 質疑事項がない場合は提出不要。
- 3 項目が不足する場合は、適宜、行を追加すること。